HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立冷凍冷蔵庫 家庭用

型式

アール エス ジェー
R-S50J
アール エス ジェー エル
R-S50JL
アール エス ジェー
R-S40J
アール エス ジェー エル
R-S40JL

（R-S50J型）

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は家庭用です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」➔P.4、5 をお読みいただき、正しくお使いください。

日立の家電品
お客様サポート

ホームページから以下のサービスがご利用いただけます。

▶ 使いかた動画
▶ お知らせ
▶ お問い合わせ
▶ 家電品の登録※1
▶ よくあるご質問

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。
詳しくは ➔P.2

日本国内家庭用
Use only in Japan

「日立の家電品お客様サポート」の利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 使いかた動画
- ▶ 家電品の登録※1
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

①コードを読み取る

日立の家電品
お客様サポート

②画面の案内に従ってお客様サポートのご利用や家電品の登録※1を行う

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。（無料）
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造番号を入力してください。製品本体のコードから登録することで製造番号の入力を省略できます。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/
●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
●「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

省エネのための上手な使いかた

1. ドアの開閉は少なく、手早く
開閉が多いと冷気が逃げて電気のムダになります。

2. 食品の詰め込みすぎは禁物
食品を詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなり庫内が均一に冷えないばかりでなく、余分な電気を消費します。奥の壁が見える程度に隙間をあけてください。

3. 熱いものはさましてから
熱いものを入れると、庫内温度が上昇し、周りの食品温度も上げてしまいます。

4. 冷蔵庫の周囲に適度な隙間をあけて
周囲に隙間がほとんど無い状態で設置すると、放熱ができず電気のムダになります。

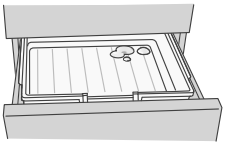
5. 傷んだドアパッキングは取り替えて
傷んでいるパッキングの隙間から冷気が漏れて電気のムダになります。名刺等をはさんでずり落ちるようでしたら、パッキングを取り替えてください。

よくあるお問い合わせ

氷が**できない**ときは
➔P.29

冷蔵庫が**冷えない**ときは
➔P.28

霜や**露**が**つく**ときは
➔P.28



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 4
準備する …… 6
使いはじめるまでの手順 …… 6
地震にそなえて …… 7
確認する …… 8
操作パネルのはたらき …… 8
各室のなまえ …… 8
温度の調節（冷蔵室・冷凍室） …… 8
保存食品例 …… 9

使いかた

冷蔵室 …… 10
各部のなまえ …… 10
食品を急いで冷やしたいとき（「急冷蔵」を使う） …… 10
ポケット・棚の高さをかえる …… 11
真空チルドルーム …… 12
使い分けのポイント …… 12
真空チルドルームの設定を変更する …… 13
真空チルドケースを開閉する …… 13
製氷室（自動製氷機） …… 14
氷をつくる（製氷） …… 14
氷の収納量・製氷時間 …… 15
急いで氷をつくる（急速製氷） …… 15
氷をつくらない（製氷停止） …… 15
給水お知らせサイン …… 15
「製氷」または、冷凍「強・弱」と冷蔵「弱」が点滅しているとき …… 15
冷凍室 …… 16
収納食品 …… 16
食品を収納するとき …… 16
食品を急いで凍らせる（急冷凍） …… 17
野菜室 …… 18
収納食品 …… 18
食品を収納するとき …… 18
野菜を保存するときのコツ …… 19
いろいろな機能 …… 20
温度微調節（冷蔵室・冷凍室） …… 20
ドアアラーム …… 20
ドアアラームと操作音の音量調整 …… 20
トリプルパワー脱臭 …… 21
節電する …… 21
節電モード …… 21

お手入れ

お手入れ …… 22
電源プラグ / ドアパッキング …… 22
ドア表面 / 各棚・ポケット / ケース …… 22
冷蔵庫背面・床 / 汁受け部 …… 22
真空チルドルーム …… 23
給水タンク …… 23
製氷おそうじ …… 24
製氷皿 …… 25
部品の取りはずしかた・取り付けかた …… 26
高さかわるん棚上段・中段 …… 26
固定棚 …… 26
高さかわるん棚下段 …… 26
ドアポケット …… 26
真空チルドケース …… 26
製氷ケース（製氷室）・上段フリーザーケース（冷凍室上段） …… 27
薄物ケース・小物ケース・大物ケース（冷凍室下段） …… 27
上段ケース・しきり・下段ケース（野菜室） …… 27
引き出しドアの取りはずしかた・取り付けかた …… 27

お困りのときは・アフターサービス

お困りのときは …… 28
使いはじめ …… 28
冷えない …… 28
霜や露がつく …… 28
冷え過ぎる …… 28
自動製氷 …… 29
操作パネルのランプが点滅している …… 30
野菜室が気になる …… 30
真空チルドが気になる …… 31
ドアの段差や傾きが気になる …… 31
においが気になる …… 32
冷蔵庫が熱くなる …… 32
音が気になる …… 32
その他 …… 33
移動・運搬の準備（引っ越しをする） …… 33
仕様 …… 34
消費電力量について …… 34
冷凍室の性能 …… 34
収納できる食品の重さの目安 …… 34
別売部品 …… 35
保証とアフターサービス …… 35
保証書（別添） …… 35
補修用性能部品の保有期間 …… 35
修理を依頼されるときは（出張修理） …… 35
点字シール …… 35
お客様ご相談窓口 …… 36

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

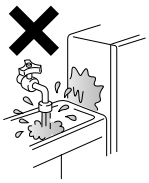
⚠ 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

火災や感電、けがなどを防ぐために ⚠ 警告

設置するとき

⃠
- 屋外や軒下など、水のかかるところには設置しない。
  （絶縁が悪くなり、漏電し感電の原因になります）



❗
- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける。➔P.7
  （販売店にご相談ください）
- 地震にそなえて転倒防止処置をする。➔P.7
- 冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける。➔P.6
  （冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれがあります）

電源や電源プラグ・コードは

⃠
- **傷つけない**
  感電・発火・火災の原因になります。
  傷つけのおそれのある取り扱い例
  ・加工する　・束ねる　・無理に曲げる
  ・重い物をのせる　・引っ張る　・挟み込む
  ・ねじる
- タコ足配線、延長コードは使用しない。
- 傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- ぬれた手で触らない。

❗
- 交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う。

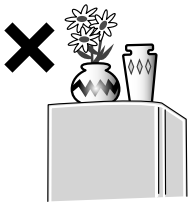
- コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- お手入れの際は抜く。➔P.22
- 長期間使用しないときは抜く。
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布でふく。➔P.22

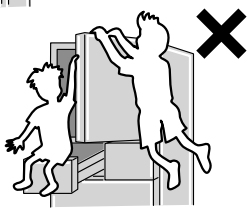
収納できないもの

⃠
- 薬品や学術試料を入れない。（厳密な温度管理が必要なものは保存できません）
- 引火しやすいものを入れない。（引火・爆発する危険があります）
- ドライアイスを入れない。（袋等に入れると破裂する危険があります）

ふだん ご使用のとき

⃠
- 本体や庫内に水やし尿をかけない。
- 冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない。
- 可燃性スプレーを近くで使わない。
- 自動製氷機の機械部には手を入れない。➔P.24
- ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない。
- 庫内では電気製品を使用しない。
- 分解・修理・改造は絶対にしない。
- ガラス製のドアに衝撃を加えない。
- 本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない。
  （冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります）
- ドアを大きく開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えない。





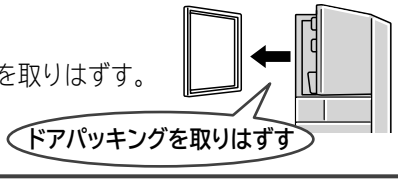
火災や感電、けがなどを防ぐために ⚠ 警告

もしものとき

- 異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止して、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。
  《異常・故障の例》
  - ・電源コード、プラグが異常に熱い
  - ・電源コードに深い傷や変形がある
  - ・焦げくさいにおいがする
  - ・ピリピリと電気を感じる
- 可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫やコンセントに触れず窓を開け換気する。
- 側面や天面（冷却回路）を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する。

廃棄するとき

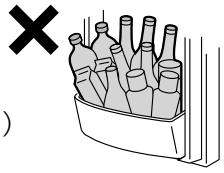
- リサイクルや保管時にお子さまの閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングを取りはずす。
- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す。
  （放置して冷媒が漏れると、引火・爆発のおそれがあります）



けがや事故などのおそれ ⚠ 注意

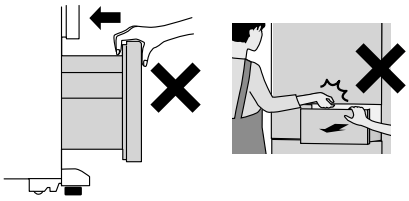
食品を収納するとき

- ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない。
- 食品は棚より前に出さない。
- におったり、変色した食品は食べない。（腐敗により病気の原因になることがあります）
- 冷凍室にビン類を入れない。
- 冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない。



ドアを開け閉めするとき

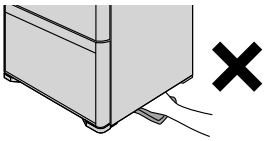
- 冷蔵室ドアのハンドルに手をかけたまま引き出しドアを開閉しない。
- ドアはハンドル以外を持って閉めない。
- 最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない。
- ほかの人が触っているときは開閉しない。
- ドアを強く開け閉めしない。（食品が落下するおそれがあります）



- ドアはすき間ができないように確実に閉めてください。長時間ドアにすき間ができたままになっていると、床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります。
- ドア開閉時の異音や摩耗粉などの異常に気づいた場合は、使用をやめて点検を依頼してください。
- ドアを開いたまま、他のドアを開閉する場合には、開いたドアとの間で手や指をはさまないよう十分注意してください。

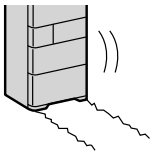
お手入れのとき

- 冷蔵庫底面に手や足を入れない。

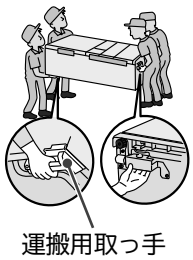


移動・運搬・設置のとき

- 横積み輸送はしない。
- ドアの取っ手を運搬時に使用しない。
- 傷つきやすい床の上では冷蔵庫を引きずらない。
  床を傷つける原因になります。
  移動するときは保護用の板などを敷いてください。
- 冷蔵庫背面・側面などぶつけたりしない。



- 食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる。
- 床を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く。
- ドアが開かないようテープなどで固定する。また、電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する。
- 運搬用取っ手を持って２人以上で運ぶ。
- 床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する。



準備する

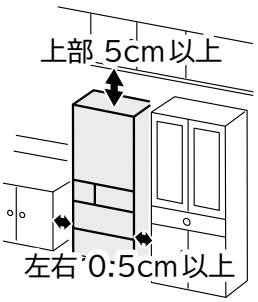
使いはじめるまでの手順

1 次のような場所に設置する

- 床が丈夫で、水平なところ
  じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床が変形、変色するおそれがある場合は板（1cm厚以上）を敷いてください。
- 熱気・直射日光が少ないところ
  冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。
- 湿気が少なく、風通しの良いところ
  さびや結露をおさえます。
- テレビなどから離れたところ
  雑音や映像の乱れを防止します。
- 放熱スペースをあけてください。（右図）

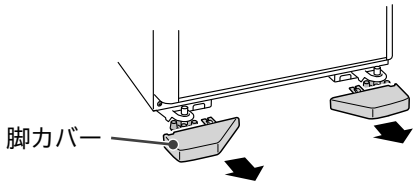
※本体側面中央部は表示寸法より大きめになる場合があります。
余裕を持って設置してください。

※振動音や、湿気が多いときの背面の結露、壁や壁紙の変色や汚れなどが気になるときは、壁から離して**（2cm以上）**ください。



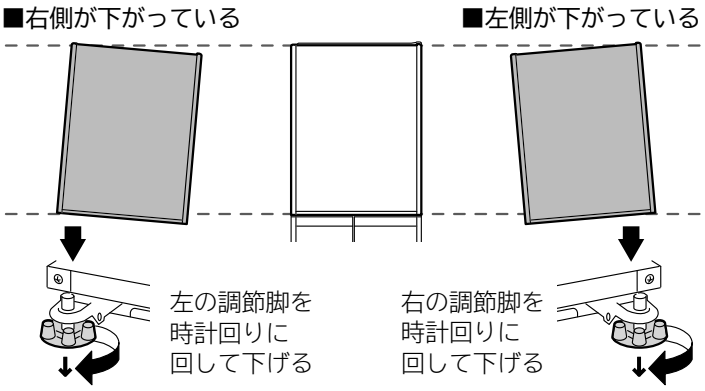
2 冷蔵庫を水平に調整・固定する

1 片側ずつ脚カバーの両端を持って、手前に強く引いて取りはずす



2 左右の調節脚を床に付くまで回す
冷蔵室ドアが水平になるように調整する

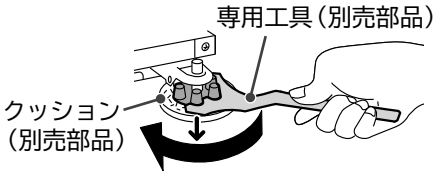
調節脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安にしてください。



※調節脚を回しすぎると調節脚がはずれる場合があります。

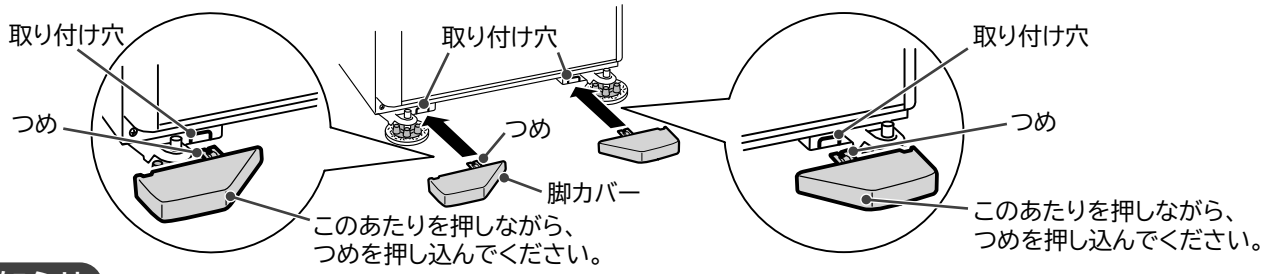
調整キット（別売部品）を使用する場合 ➔ P.35

・クッションを調節脚の下に入れてください。（調節脚に対して前後左右均等になるように入れてください）
・専用工具は調節脚の形状に合わせてはさみこんでください。



※クッションを入れる前に、調節脚と床面をきれいに拭いてください。汚れがついていると、床面に傷がつく場合があります。
※調節脚を回す際に、専用工具で床面を傷つけないようにご注意ください。

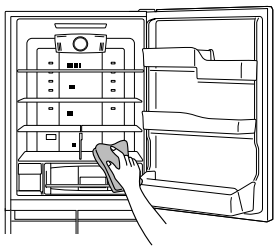
3 脚カバーのつめを冷蔵庫取り付け穴に差し込み、取り付ける



お知らせ

- 床材の強さや材質、食品の重みによって数日後（5日程度）にドアが下がることがあります。そのときは、もう一度ドアの平行調整をしてください。
- 冷蔵庫の設置する場所が水平でなかったり、床材がやわらかいときは、冷蔵室ドアが傾く場合があります。
  機能上問題ありませんが、気になる場合は上記の手順でドアの平行調整を行ってください。
- 左右水平にし、冷蔵庫の前側をやや上に調整するとドアが閉まりやすくなり半ドアを防止します。
- 冷蔵室ドアを開いた状態で手をはなしたとき、ドアが動く場合がありますが、故障ではありません。
- 調節脚を回してもドアの傾きが直らない場合は、調整板（別売部品）をお使いください。➔ P.35

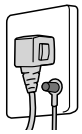
3 庫内を掃除する ➔ P.22～25



- 湿らせたやわらかい布で拭いたあと、乾いた布で仕上げてください。
- 給水タンクや浄水フィルター、製氷皿を水洗いしてください。

※引き出しレールやレールの接触面に塗られている潤滑剤は、ふき取らないでください。
（潤滑剤は、食品衛生法に適合しています）
※使いはじめは、プラスチックのにおいがする場合があります。
気になるときは、においがこもらないように部屋の風通しをよくしてください。（においは次第に消えます）

4 電源プラグを差し込む



設置後、すぐに電源プラグを差し込んでも問題ありません。
コンセントは単独で使用してください。（交流100V、定格15A以上）

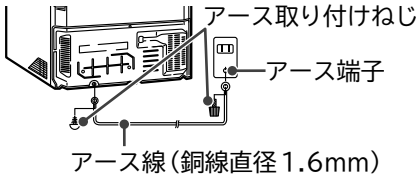
- 電源プラグやコードが冷蔵庫背面と壁との間にはさまれていないか確認してください。コードの発熱を防ぎます。

庫内の冷却がはじまります

- 冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に**冷えるまでに約４時間程度**かかります。
  夏場など暑いときは、24時間以上かかることがあります。
  アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。
- はじめて自動製氷をお使いのときは、手順に従い自動製氷機の**「製氷おそうじ」**をしてください。➔ P.24
- 製氷運転は庫内が十分冷えてから開始されます。
  （使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります）
- 庫内温度が低いときなどは電源プラグを差し込んでから10分程度冷却が始まらないことがあります。

万一の感電防止のためにアース（接地）をおすすめします。

- アース線（お買い上げの販売店などでお買い求めください）をコンセントのアース端子と背面左下のアース取り付けねじに接続してください。



アース線を接続してはならないところ

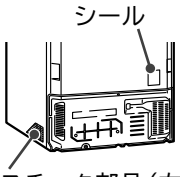
- 水道管（感電の危険）
- ガス管（爆発の危険）
- 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

※法令などで禁止されています。

※コンセントにアース端子がない時は、お買い上げの販売店などにアース工事（別料金）を依頼してください。
※湿気の多い場所・水気のある場所（土間など）に設置するときは、必ずアースを取り付けてください。また、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。

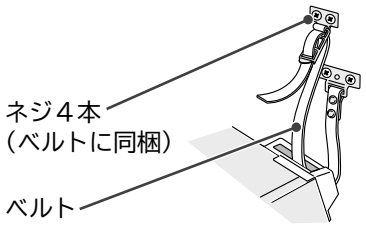
お知らせ

- **配管の防さび処理が必要となる場合があります。**
  温泉地域や工業地域周辺、下水配管の近くなどに冷蔵庫を据え付ける場合、硫化ガスの影響で配管が腐食することがあります。
  販売店にご相談ください。なお、配管が黒く変色する等、ガス害による故障は保証の対象外となります。
- **電源プラグを差し込んだ後、運転音がします。また、冷蔵庫が十分に冷えるまで、コンプレッサーやファンの音が大きく感じることがあります。**
- 背面のシールをはがしたり、側面下部のプラスチック部品を取りはずさないでください。
- マグネットや吸盤を本体やドアの表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
- 周囲の湿度が高いとき、ドア表面に紙などを貼ると、ドア表面に露がついたり、紙が吸湿する場合があります。



地震にそなえて

地震に備えるため冷蔵庫用地震転倒防止ベルト（別売部品）を２セット使用し、
丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。➔ P.35



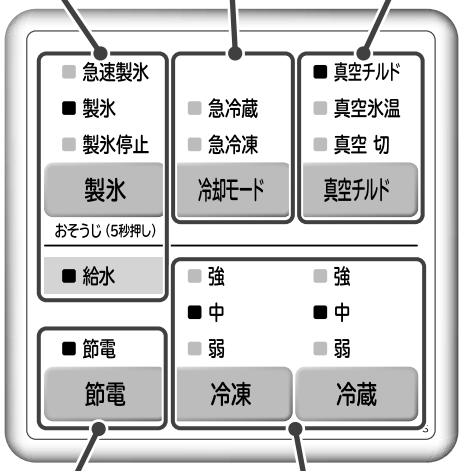
確認する

操作パネルのはたらき

製氷
- 急速製氷 ➔P.15
- 製氷 ➔P.14
- 製氷停止 ➔P.15
- 給水 ➔P.15

冷却モード
- 急冷蔵 ➔P.10
- 急冷凍 ➔P.17

真空チルド
- 真空チルド ➔P.12
- 真空氷温 ➔P.12
- 真空 切 ➔P.12



節電

各室の冷却を少し弱めて節電します。
- 節電 ➔P.21

冷凍・冷蔵

冷凍室、冷蔵室の庫内温度を３段階に調節できます。
- 温度の調節 ➔下記参照

お願い

操作パネルには強い衝撃を与えたり、硬いものを当てたりしないでください。

お知らせ
- 操作パネルのランプが点滅しているときは ➔P.30
- 「点字シール」をご用意しています。➔P.35

各室のなまえ

温度の調節（冷蔵室・冷凍室）

冷凍 または 冷蔵 を押して温度の変更ができます

ご購入時は、「中」に設定されています。通常は「中」の設定でお使いください。

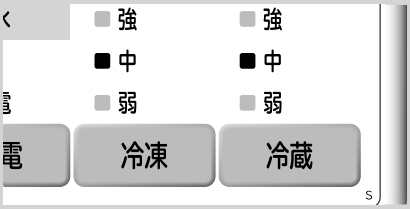
夏場などに、冷えが悪いと感じるときは、「強」でお使いください。

お願い

冬場などに「強」で長時間ご使用になると、食品が凍ることがあります。
冷えすぎると感じるときは、「中」または「弱」でご使用ください。

お知らせ
- 庫内の温度は使用条件により多少変動します。
- 温度をさらに細かく調節することもできます。➔P.20
- 冷凍室「強」は「中」設定に比べ、消費電力量が約2割程度多くなります。
- 冷蔵室の温度設定を変更すると、真空チルドルームの温度も変わります。
- 冷凍室の温度設定を変更すると、製氷室の温度も変わります。

■操作パネル



冷蔵室温度の目安
「強」は「中」より約1～3℃低め
「弱」は「中」より約1～3℃高め

冷凍室温度の目安
「強」は「中」より約2～4℃低め
「弱」は「中」より約2～4℃高め

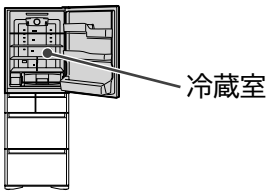
保存食品例

保存場所		温度の目安	食品
冷蔵室 ➔P.10	棚	約2℃～6℃	日常的に使う食品 サラダ　ケーキ　とうふ　乳酸菌飲料　ヨーグルト　プリン
	ドアポケット	約2℃～9℃	鍋に入れた食品　生卵　調味料　ビール　牛乳　ペットボトル飲料
真空チルドルーム ➔P.12	真空チルド	約0℃～2℃	バター　チーズ　サラダ　カットした果物
	真空氷温／真空切	約－2℃～0℃	肉・魚介類など生鮮食品 肉　魚介類　かまぼこ　ちくわ　ウインナー
製氷室 ➔P.14		約－19℃～－17℃	自動製氷でつくった氷 それ以外の氷や食品は入れないでください。
冷凍室上段 ➔P.16		約－19℃～－17℃	コーヒー豆　茶葉　うどん　食パン
冷凍室下段 ➔P.16		約－20℃～－18℃	肉・魚介類　アイスクリーム　冷凍食品　ご飯
野菜室 ➔P.18	上段・スリープ野菜スペース	約4℃～8℃	上段スペース 小物野菜や使いかけの野菜、果物など トマト　イチゴ　グレープフルーツ　ピーマン　しいたけ スリープ野菜スペース 葉物野菜（ホウレンソウ、小松菜など）、大物野菜（キャベツ、レタスなど）など ホウレンソウ　小松菜　キャベツ　レタス
	たて収納スペース	約4℃～9℃	たて収納スペース 背の高い野菜やペットボトルなど きゅうり　にんじん　ペットボトル

※温度は冷蔵庫の周囲温度約32℃、冷蔵室、冷凍室ともに「中」設定で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安です。

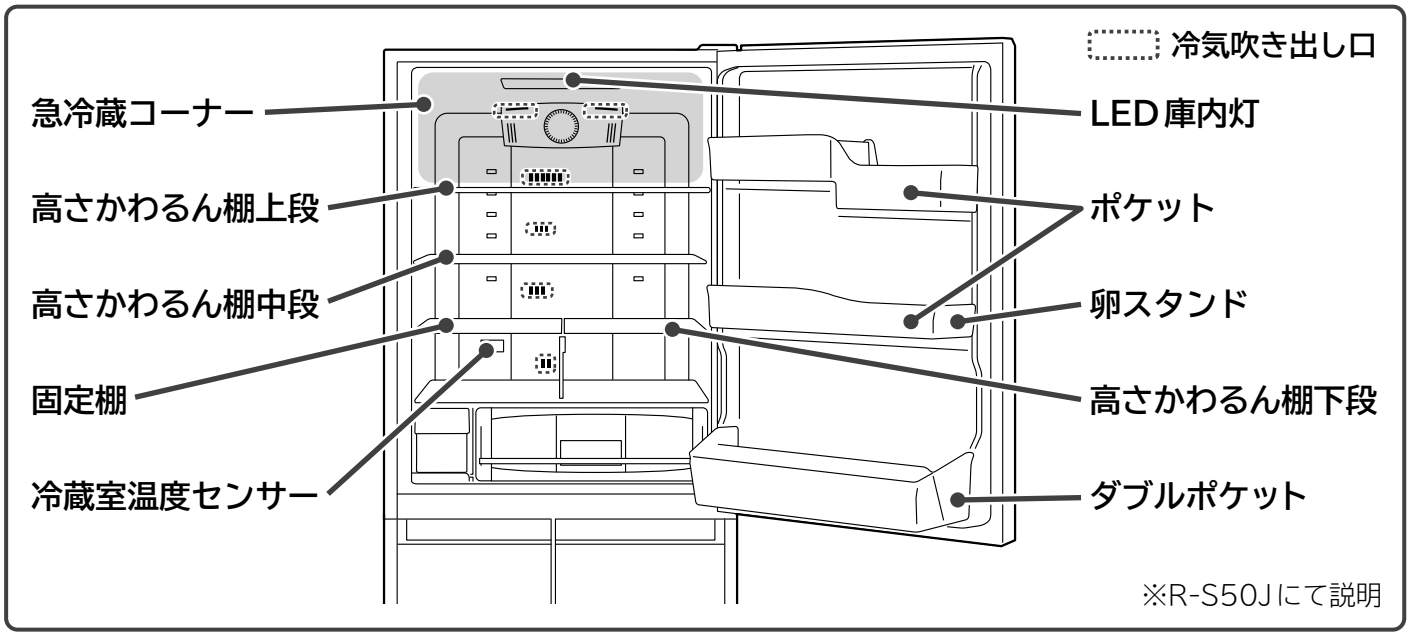
保存のコツ
- 食品はすき間をあけて収納してください。
- においの強い食品はラップをすることをおすすめします。
- 収納できる食品の重さの目安があります。➔P.34

冷蔵室



よく使う食品をたっぷりすっきり保存します。

各部のなまえ

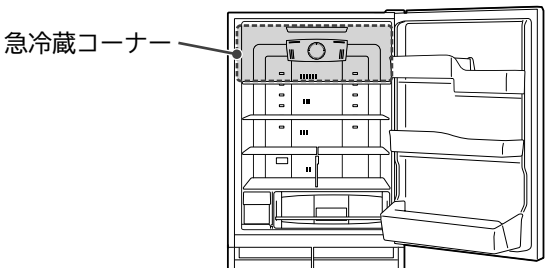


お願い

- 冷気吹き出し口付近に缶飲料や水分が多い食品を置くと凍ったり破裂するおそれがありますので、棚の手前側かポケットに収納してください。
- 温かい食品は高さかわるん棚に収納してください。温度センサーの近くに入れると冷蔵室温度が下がりすぎたり、冷蔵室奥が結露する場合があります。
- ドアを強く開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えないでください。ドアが破損するおそれがあります。

食品を急いで冷やしたいとき（「急冷蔵」を使う）

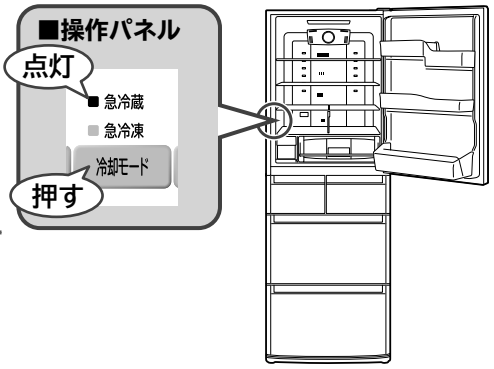
食品を急いで冷やしたいときに、急冷蔵コーナーの冷却を強める運転をします。



設定するとき

冷却モード を押して「急冷蔵」を点灯させる

約50分で運転を自動終了し、「急冷蔵」表示が消灯します。



途中で解除するとき

冷却モード を押して「急冷蔵」を消灯させる

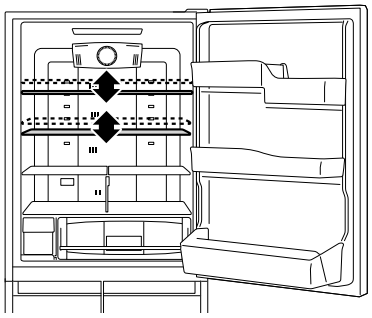
お知らせ 「急冷蔵」運転中は通常よりも消費電力量が多くなります。

ポケット・棚の高さをかえる

食品や飲料の大きさにあわせてポケットや棚の位置をかえることができます。取りはずしかた・取り付けかた ➔P.26

■高さかわるん棚上段・高さかわるん棚中段

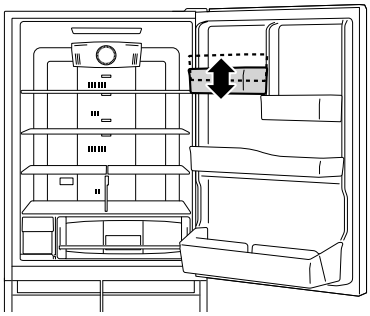
食品や飲料の高さに応じて、調節できます。



■高さかわるポケット

（※R-S40J・R-S40JLのみ）

食品や飲料の高さに応じて、調節できます。

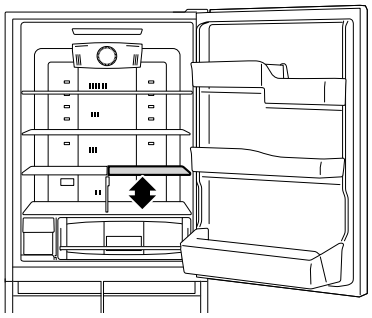


冷蔵室の食品収納スペースの目安（ ➔P.34 ）は下記の配置で算出しています。

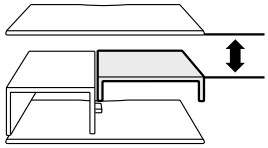
型式	R-S50J・R-S50JL	R-S40J・R-S40JL
高さかわるん棚上段	上から２段目	
高さかわるん棚中段	上から５段目	上から４段目
高さかわるポケット	－	下段

■高さかわるん棚下段

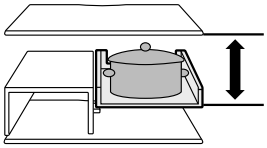
３段階に調節できます。



● ご購入時の状態

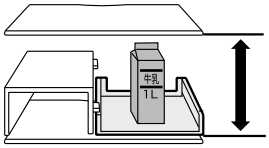


● なべの収納など



棚をひっくり返して
上段にセット

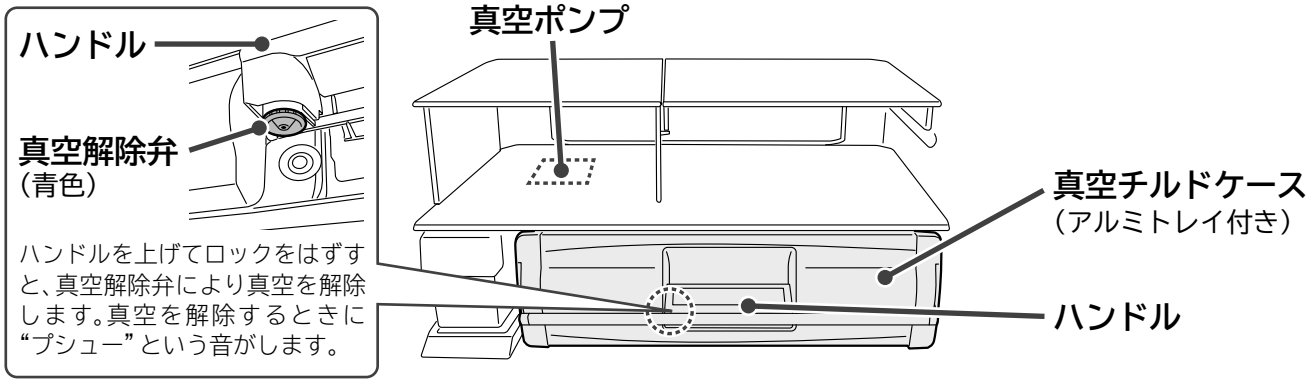
● 牛乳パックの収納など



棚をひっくり返して
下段にセット

真空チルドルーム

鮮度と栄養素を守っておいしく保存できます。



使い分けのポイント

収納する食品に合わせて真空チルド・真空氷温を切り替えてください。 ※ご購入時は、真空氷温に設定されています。

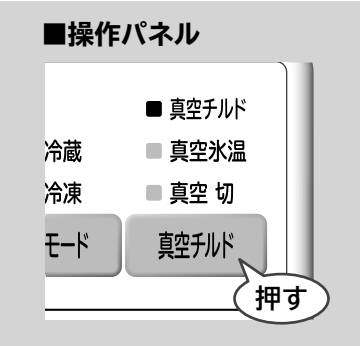
真空チルド （約0℃～2℃）	●乳製品 チーズなど ●カットした野菜や果物 カットした生野菜、カットした果物 ●凍るとスが入るもの とうふ、こんにゃく、厚揚げ、しらたき、ゆで卵など 浸透調理で時間短縮 ●つけ物　●干物のもどし　●マグロの漬け　●フレンチトーストの下ごしらえ　●鶏のから揚げの下ごしらえ
真空氷温 （約－2℃～0℃）	●肉類・肉の加工品 牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど ●魚介類・海産物・魚の加工品 サバ・ブリ・アジ・イクラ・練り物など ●肉や魚の解凍 ・水分の多い食品は凍る場合があります。
真空 切 （約－2℃～0℃）	真空機能を解除します。収納に注意が必要な「密封袋入り食品」や「プラスチック密封容器」を収納する場合におすすめします。氷温室のため、水分の多い食品は凍る場合があります。

お知らせ 食品にラップをしても真空による効果は変わりません。におい移りが気になる場合はラップをしてください。

ご注意
- 周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍ることがあります。
- 氷温とチルドの食品を一緒に入れるときは、凍結防止の為、「真空チルド」に設定してください。
- 冷蔵室・冷凍室の温度設定を「強」または「弱」にしますと、真空チルドルームの温度も変動します。
- **真空チルドルームには、食品や容器を無理に詰め込まないでください。**
  真空チルドケースを引き出すことができなくなることがあります。

真空チルドルームの設定を変更する

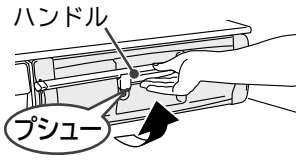
真空チルド を押してお好みの設定に変更ができます



真空チルドケースを開閉する

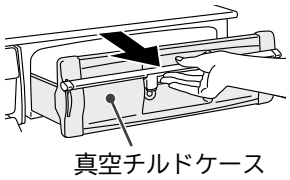
開けるとき

1 **ハンドルを引き上げてロックをはずす**



※真空ポンプが作動してから真空状態になるまでに、約3～4分かかります。4分以内に真空チルドのケースを開けても“プシュー”と音がしない場合があります。

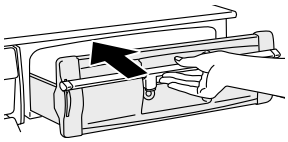
2 **真空チルドケースを手前に引き出す**



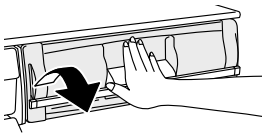
※“プシュー”と音が聞こえている間は真空を解除している途中のため、真空チルドケースは引き出せません。音が消えてから手前に引き出してください。

閉めるとき

1 **真空チルドケースを奥まで押し込む**

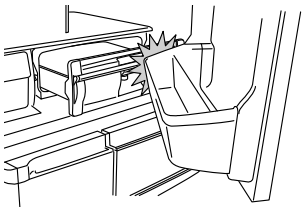


2 **ハンドルをしっかり下げてロックする**



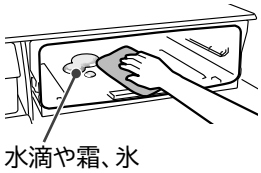
ご注意

- ハンドルをしっかり下げないと真空状態になりません。
- ハンドルをロックせずに冷蔵室ドアを閉めると部品や食品などを破損したり、ドアにすき間ができ冷えが悪いなどの原因になります。

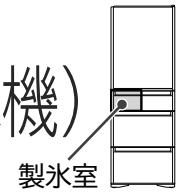


お願い

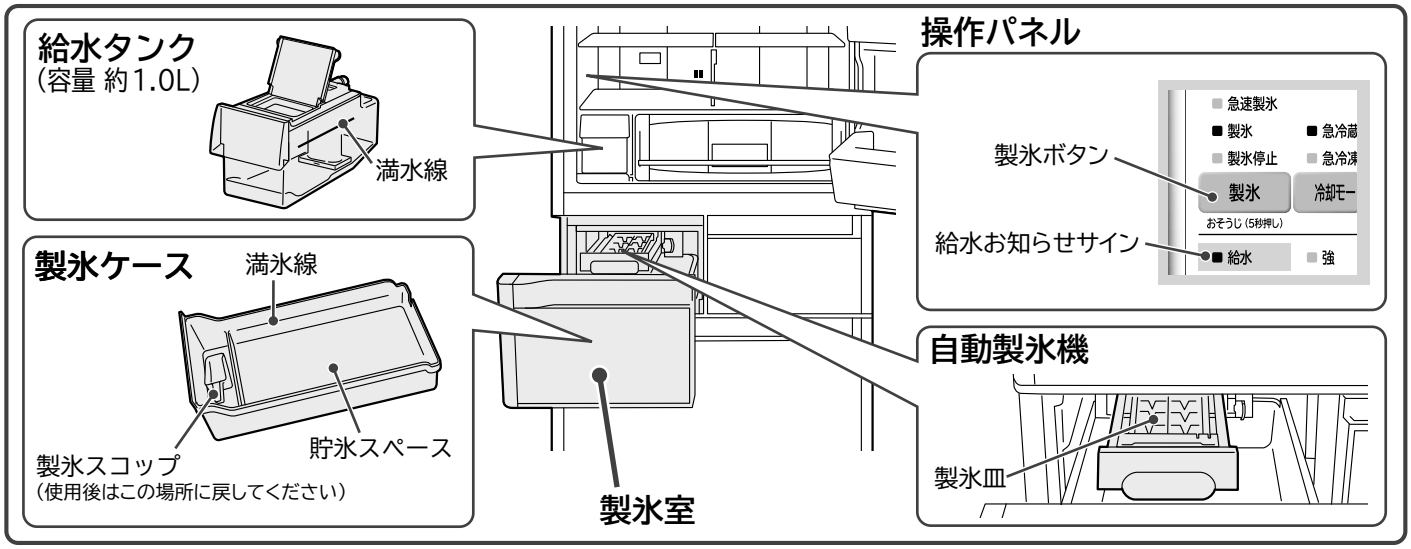
- 真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中にふくまれる水分により、ルーム内に水滴や霜、氷がつくことがあります。やわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。
（水滴や霜、氷がついても性能に支障ありません）
- 水滴や霜、氷が気になる場合は、収納食品にラップすることをおすすめします。
- ルーム内に水や食品の汁をこぼした場合は、すぐにふき取ってください。



製氷室（自動製氷機）



自動で氷を作ります。

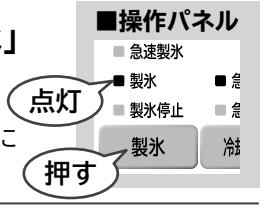


氷をつくる（製氷）

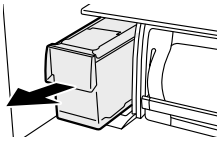
はじめて氷をつくるときや、1週間以上氷をつくらなかったときは、「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.24

1 製氷 を押して「製氷」を点灯させる

ご購入時は、製氷「入」（点灯）に設定されています。

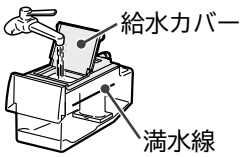


2 給水タンクを取り出す



3 給水カバーを開けて水を入れる

※「満水線」以上は水を入れないでください。



4 給水タンクをセットする

「タンクセット位置」の線を越えるように、奥までしっかりと押し込んでください。

給水タンクが奥まで押し込まれていないと、氷ができません。

※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

5 自動で製氷運転が始まります

- 製氷ケースの満氷線まで氷がたまると、自動製氷機能が一時停止し、氷が少なくなると自動で再開します。
- 製氷ケース内に氷がない時は、製氷皿から氷が落ちる音が大きく聞こえるときがあります。

お願い

○ **●水道水での製氷をおすすめします。**
給水タンクは1週間に1回以上水洗いしてください。
➔ P.23

- ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど（塩素を含まない水）で製氷する場合は、こまめに給水タンクを洗ってください。ぬめりや雑菌の発生をおさえます。

※ミネラル成分の多い水でつくった氷を水に入れると、白い浮遊物（ミネラル成分）がでることがありますが、害はありません。

ミネラルウォーター
（硬度：100mg/L以下）

浄水器の水

井戸水
（水質基準を満足するもの）

✕ ●水以外のものを使用しないでください。
故障や、変形、氷のくっつきなどの原因になります。

ジュース類

スポーツドリンク

炭酸飲料

お茶

氷の収納量・製氷時間

型式		R-S50J	R-S50JL	R-S40J	R-S40JL
氷の収納量	通常状態	約90個			
	氷をならした状態	約150個		約130個	
1回の製氷時間	通常の「製氷」	約110分～140分			
	「急速製氷」	約80分			
1回の製氷数		12個		8個	

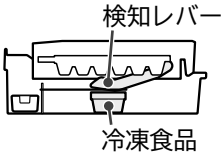
※周囲温度約30℃、各室温度設定「中」、ドア開閉なしのときの目安値です。

お知らせ

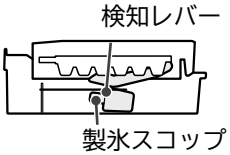
- **氷が部分的にたまると、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。**氷をたいらにならしてください。
- **次のようなときは、氷ができるまでの時間が長くかかります。**
  - ・はじめてお使いのとき（24時間以上かかることがあります）
  - ・冷凍室の温度設定が「弱」のとき
  - ・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
  - ・「節電」モードに設定しているとき
  - ・停電があったとき
  - ・ドアの開け閉めが多いとき
  - ・製氷皿のお手入れをしたあと
  - ・冷凍室や製氷室が半ドアになっているとき
  - ・冬場など周りの温度が低いとき

お願い

- 貯氷スペースには、自動製氷機でつくった氷以外の冷凍食品や製氷スコップなどを入れないでください。氷ができなくなったりします。（製氷機の部品が食品にあたり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります）
- 製氷室のドアは、ゆっくりと開閉してください。
  勢いよく開閉しますと、製氷ケースから氷がこぼれ、冷凍室下段に落ちることがあります。



冷凍食品が入っていませんか？

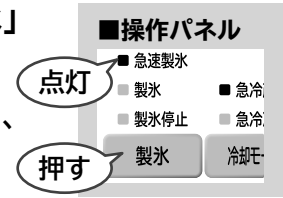


製氷スコップは所定の位置にありますか？

急いで氷をつくる（急速製氷）

製氷 を押して「急速製氷」を点灯させる

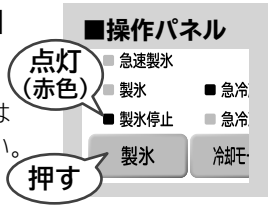
約7時間で運転を自動終了し、「製氷」に切り替わります。



氷をつくらない（製氷停止）

製氷 を押して「製氷停止」を点灯させる

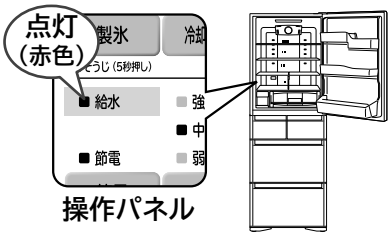
※1週間以上「製氷停止」にする場合は自動製氷機のお手入れをしてください。
➔ P.24,25



給水お知らせサイン

給水タンクの水が少なくなると、「給水」ランプが点灯します。給水タンクに水を補給してください。

冷蔵室ドアを閉めると、「給水」ランプは一度消灯します。水が補給されない場合は再び点灯します。（最大3時間後）



操作パネル

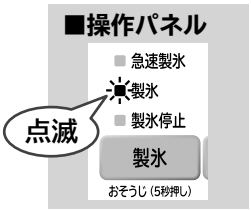
お知らせ

- 自動製氷機の設定が「製氷停止」のときは「給水」ランプは点灯しません。
- 給水タンクに水があっても、給水タンクがしっかりと押し込まれていないと、「給水」ランプが点灯します。給水タンクを「タンクセット位置」より奥に押し込んでください。
- 「製氷」設定時でも、満氷の場合は「給水」ランプは点灯しないときがあります。

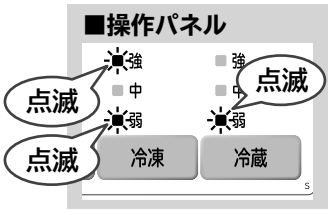
「製氷」または、冷凍「強・弱」と冷蔵「弱」が点滅しているとき

製氷皿が製氷ケース内の食品にあたっている可能性があります。

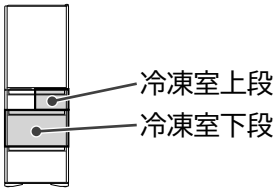
一度製氷ケース内を空にして、「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.24



または



冷凍室

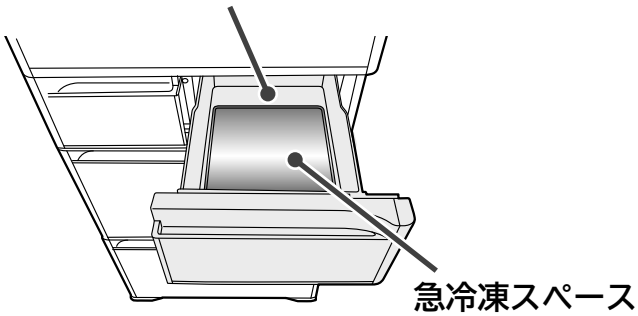


３段ケースでたっぷりすっきりおいしく冷凍します。

冷凍室上段

日常使う食品や、使いかけの食品を保存する際に、ご使用ください。

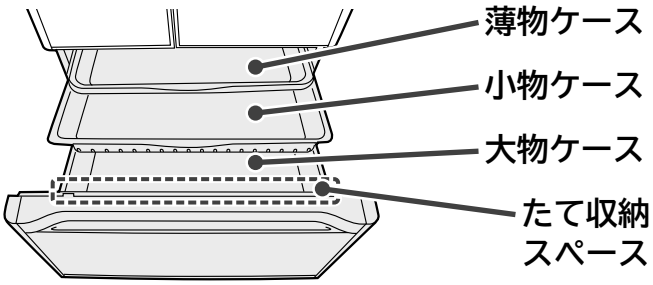
上段フリーザーケース（アルミトレイ付き）



冷凍室下段

３段ケースでたっぷり収納できて、スッキリ整理ができます。

長く保存する食品や、溶けやすいアイスクリームなどの収納に適しています。



収納食品

冷凍室上段		フリージングパック、密閉容器、食パンなど 急冷凍スペース 肉・魚やごはんをすばやく冷凍するとき
冷凍室下段	薄物ケース	小物冷凍食品など
	小物ケース	フリージングパック、密閉容器など
	大物ケース	冷凍食品、アイスクリームなど たて収納スペース 冷凍専用ペットボトルなど

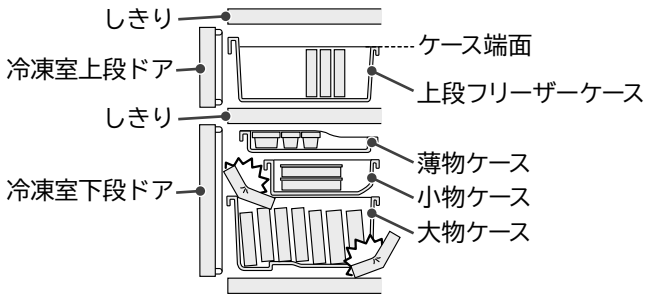
食品を収納するとき

食品の種類や大きさに合わせて収納します。収納する食品の高さは各ケースの端面を目安にしてください。食品が上のケースやしきりに触れないように収納します。

ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースを破損することがあります。

ご注意

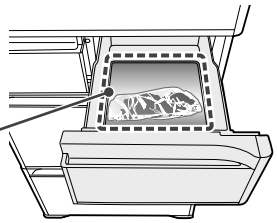
- **薄物ケースに500mLのペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。**
- 薄物ケースおよび小物ケースを取りはずしたまま使用しないでください。ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。
- 冷凍対応ペットボトルなど、凍らせてもよい食品のみ収納してください。



食品を急いで凍らせる（急冷凍）

アルミトレイの効果とあわせて、よりすばやく食品を冷凍します。

食品をラップやフリージングパックにつつんでアルミトレイの上に置いてください。
食品を薄く小分けにすると、中心まですばやく凍るだけでなく、取り出しやすく便利です。



お知らせ

- 食品は積み重ねずにアルミトレイに密着させるように置くと、より効率よく冷凍することができます。

設定するとき

冷却モード を押して「急冷凍」を点灯させる

約120分で運転を自動終了し、「急冷凍」ランプが消灯します。

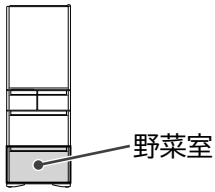
途中で解除するとき

冷却モード を押して「急冷凍」を消灯させる

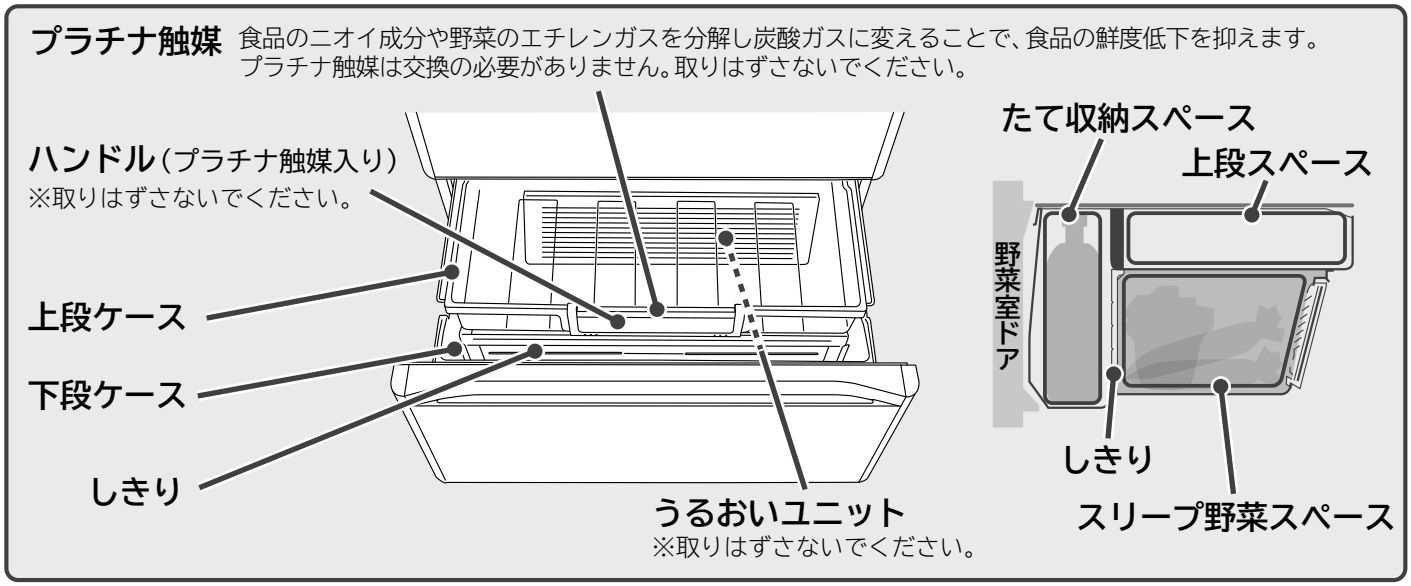
お知らせ

- 「急冷凍」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
- 「急冷凍」運転終了後60分以内に、再び「急冷凍」を設定すると、「急冷凍」表示は点灯しますが、「急冷凍」運転は約60分経過してから運転を行います。冷蔵室の温度が上がることを防ぐためです。
- 食品がアルミトレイにはりつくことを防ぐため、必ずラップやフリージングパックでつつんでください。
- 「急冷凍」運転中は通常よりも消費電力量が多くなります。

野菜室



スリープ野菜室では、プラチナ触媒で炭酸ガスの濃度を高めて野菜の呼吸活動を抑え、眠らせるように、うるおいユニットで適度な水分を維持して野菜を保存します。



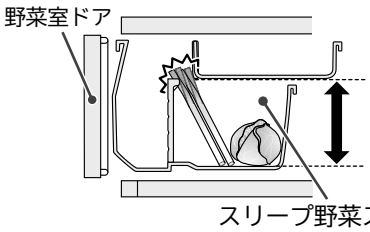
収納食品

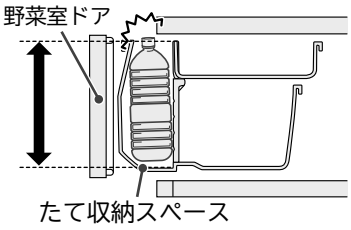
上段スペース	使いかけの野菜や小物野菜（トマト、ピーマンなど）、果物など（イチゴ、グレープフルーツなど） トマト　ピーマン　イチゴ　グレープフルーツ
スリープ野菜スペース	葉物野菜（ホウレンソウ、小松菜など）や、大物野菜（キャベツ、レタスなど）など ホウレンソウ　小松菜　チンゲンサイ　ブロッコリー　キャベツ　レタス
たて収納スペース	背の高い野菜や2Lペットボトルなど

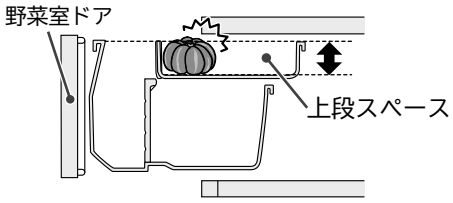
食品を収納するとき

食品の種類や大きさに合わせて収納します。

- **収納する食品の高さに注意してください。**
  - ・ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースが破損することがあります。
  - ・食品やペットボトルの種類により収納できない場合があります。
- **上段ケースを取りはずしたまま使用しないでください。**
  - ・ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。
- **無理に食品、飲料などを押し込まないでください。**
  - ・しきりや各ケースが破損することがあります。







野菜を保存するときのコツ

■常温保存がおすすめの野菜

- にんにく、玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ（丸ごと）は冷暗所（室内温度が一定で低めに保たれ、直射日光が当たらない場所）に保存することをおすすめします。

■低温障害のおそれ

長期間野菜室に入れると食品によって、色が変わったり、味が落ちたりします。
また、ビタミンCが減ったり、カビが生えたり、腐りはじめたりすることもあります。

低温障害を起こしやすい食品

- 野菜…トマト、ピーマン、なす、さやいんげん、さつまいも、おくら など

- 果物…バナナ、パイナップル、マンゴー、パパイヤ、アボカド、レモン など

こんなときは

- 野菜が少ないときは、高い湿度を保てないことがありますので、ラップをして保存してください。
- 野菜室は湿度が高いため、野菜の量や種類によっては、ケースやうるおいユニット表面、食品表面などに結露することがあります。結露が気になる場合は、食品にラップをしてください。
- 食品の袋や容器によってうるおいユニットがふさがれた場合、結露が多く発生します。うるおいユニット部分をふさいでいる食品の袋や容器を他の所に移動してください。
- ケースに水がたまると食品が傷みやすくなるので、やわらかい布でふき取ってください。
- 米、海苔などの乾燥食品を野菜室に収納する際は、密閉した容器（袋）に入れてから収納してください。乾燥食品が吸湿することがあります。

お知らせ

たて収納スペースは他のスペースに比べ、温度が少し高めになります。

■野菜を保存するときのコツ

種類	保存するときのコツ	種類	保存するときのコツ
キャベツ　レタス	芯をくり抜き、ぬらしたペーパータオルを詰める。	ほうれん草　小松菜　チンゲン菜	傷んだ葉を取り除いて、立てて保存。
大根　にんじん	葉が付いている場合は葉を落とす。		
ブロッコリー	ビニール袋に入れて保存。	アスパラガス	立てて保存。
かぼちゃ（カット）	種の部分を取り除く。	しいたけ	傘を下にして保存。（水気が多い場合は紙袋に入れて保存）
きゅうり	水気をよくふき取って立てて保存。	しょうが	水気をよくふき取って保存。

いろいろな機能

温度微調節（冷蔵室・冷凍室）

冷蔵室と冷凍室の温度設定をさらに細かく11段階に調節することができます。

1 **冷蔵室ドアと冷凍室下段ドアを開ける**

2 **冷蔵 をピーッと鳴るまで5秒以上押しつづける**

3 **冷凍室下段ドアを閉める**

4 **冷蔵 または 冷凍 を押して各室を調節する**

押すごとに下図のように表示が順番に切り替わります。
通常は「中」の位置でご使用ください。

（■中：点灯、■中：点滅、■中：消灯）

表示	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱	■強 ■中 ■弱
設定	さらに弱	弱	➡	➡	➡	中	➡	➡	➡	強	さらに強

操作パネル

解除 **手順1、2、3、4の操作をする**

操作音がピピッと鳴り、通常の調節（3段階）に戻ります。

ドアアラーム

ドアのいずれかを1分以上開放すると、音でドアが開いていることをお知らせします。

ドアアラーム機能は、冷蔵室、製氷室、冷凍室下段についています。（冷凍室上段、野菜室にはついていません）

ドアの開放時間	30秒後（節電モード設定時）	1分後	2分後	3分以降
アラーム音	ピーッ（3回）	ピーッ（3回）	ピーッ（5回）	ピーッ（連続）音量大きめ
操作パネルのランプ	–	–	–	点滅

お知らせ 操作パネルのランプが点滅中はボタンを押しても反応しません。一度ドアを閉めてから操作してください。

ドアアラームと操作音の音量調整

ドアアラームと操作音の音を大きめにしたり、音を鳴らないように設定することができます。

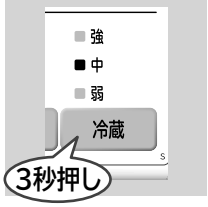
冷蔵 を設定音が鳴るまで3秒以上押しつづける

操作音の音量が「標準」「大きめ」「切」に切り替わります。設定の切り替えを繰り返し、ご希望の音量（下表参照）に切り替えてください。
ご購入時は、「標準」に設定されています。

音量	標準	大きめ	切	標準
設定音	–	ピーピーッ	ピーッ	ピピッ

（ご購入時）

■操作パネル



お知らせ

- ドアアラームと操作音の片方のみを音量調整することはできません。
- 音を「切」にすると、ドアアラーム中に操作パネルのランプは点滅しません。
- 音量を「切」にした場合でも「製氷おそうじ」のアラームは鳴ります。➔P.24
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は「標準」に戻ります。

トリプルパワー脱臭

３種類の脱臭素材の組み合わせによって、硫黄系・チッ素系・アルデヒド系・酸系の４大臭気をふくむ庫内のさまざまなにおいを脱臭します。また、フィルターに捕集した細菌の活動を抑制します。
脱臭フィルターには、除菌効果があります。

- 試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法：フィルム密着法（JIS Z 2801） ●処理部品名：フィルター
- 除菌の方法：酸化触媒をフィルターに塗布 ●対象：フィルターに捕集した細菌 ●試験の結果：24時間後に99%の除菌効果。
  フィルター単体での性能です。庫内全体や食品に効果がおよぶものではありません。

節電する

節電モード

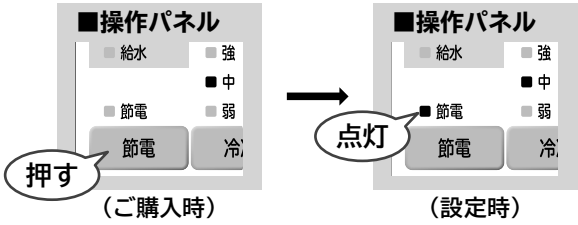
周囲温度が低い時や留守の時間が長い場合等は、節電モードに設定すると、各室の冷却を弱める運転に切り替わるため、節電ができます。

冷蔵室ドアを30秒以上開放すると、ドアアラームが鳴り冷蔵室のLED庫内灯が減光して、ドアの開閉を手早く行うようお知らせします。
また、長い時間ドアの開閉がない場合は、**庫内をゆっくり冷やすことで、さらに消費電力量を抑えます。**

設定するとき

ご購入時は、節電モード「切」（消灯）に設定されています。

節電 を押して「節電」を点灯させる



解除するとき

節電 を押して「節電」を消灯させる

お知らせ

- **冷却を弱める運転をするため、アイスクリームがやわらかくなるなど、冷えが弱いと感じられる場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。**
- 「節電」設定中に「急速製氷」を設定した場合には冷却を弱める運転を一時解除します。
- 「冷凍室」「冷蔵室」の両方またはいずれかの設定温度を「弱」でお使いの場合は、「弱」設定の各室については食品の鮮度保持のため冷却を弱める運転はおこないません。

お手入れ

⚠警告 お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

■汚れに気づいたら

すぐにふき取りましょう。見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。

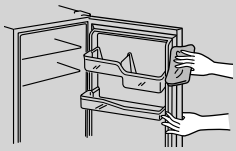
電源プラグ　年に1、2回

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でホコリなどを取り除く。

火災や感電を防ぐために ➔ P.4

ドアパッキング　月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る。

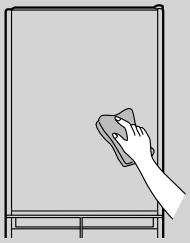


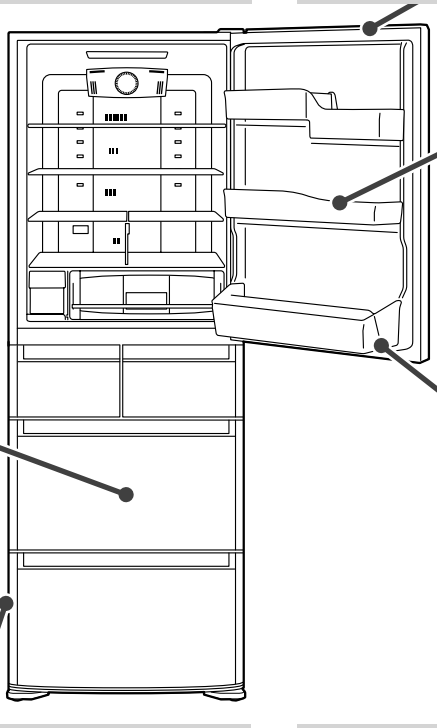
汚れやすいところなので、汚れをよくふき取ってください。

ドア表面　月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき落とし、その後、乾いた布できれいにふき取る。

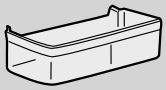
ガラス表面にテープのりなどが残っているときは、プラスチック消しゴムでこすってから乾いた布でふくと取り除くことができます。





各棚ポケット　3か月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る。

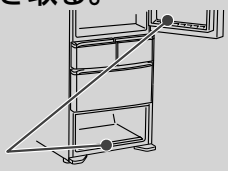


取りはずしかたは ➔ P.26

汁受け部　月に1回

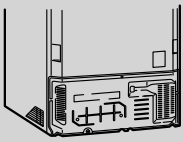
やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る。

汁がたまったり汚れた場合、ふき取ってください。



冷蔵庫背面・床　年に1、2回

脚カバーを取りはずし、調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫を手前に引き出し、汚れをふき取る。

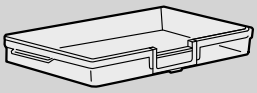


取りはずしかたは ➔ P.6

- 背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。
  傷のつきやすい床では、保護用の板などを敷いてください。
- 振動音が気になるときや、湿気による背面壁の変色、汚れが気になるときは背面壁から離して(2cm 以上)設置してください。

ケース　3か月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る。



野菜室の下段ケースを水洗いした場合は、ひっくり返して水を抜いた後、十分に水分をふき取ってください。また、歯ブラシやたわしなど毛足の長いものは使わないでください。ケースの傷つきや、うるおいユニットの破損の原因になります。

取りはずしかたは ➔ P.27

※プラチナ触媒は水洗いしないでください。

お願い ●ドア、塗装面やプラスチック、ガラス面を傷めたり、変色させたりする場合がありますので、次のものは使わないでください。

アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤(中性以外)、ガラス用洗剤、塩素系漂白剤　たわし、研磨スポンジ、化学ぞうきん　みがき粉、粉せっけん　ベンジン、シンナー、アルコール　熱湯

洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。

- 食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。付着した部品が変色したり割れたりする場合があります。
- ケース類や引き出しレールの可動接触面には潤滑剤が塗られているのでふき取らないでください。(潤滑剤は食品衛生法に適合しています)
- マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
- 電源プラグを抜いた場合、操作パネルの設定が解除されますので、お好みに合わせて再設定してください。

真空チルドルーム 月に1回

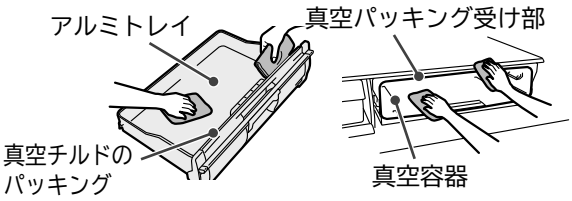
1 真空チルドケースを引き出す

取りはずしかたは ➔P.26

真空チルドケース内に収納されている食品は必ず取り出してください。

2 下記部品を、やわらかい布にぬるま湯をふくませてふく

※洗剤などは使わないでください。



お願い

- 真空チルドのパッキングは、洗剤などを使用すると、破損・変形・変色し、真空状態を保てなくなることがあります。

3 真空チルドケースを取り付ける

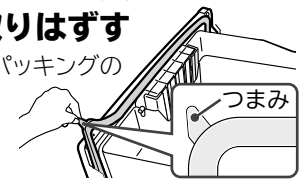
取り付けかたは ➔P.26

真空チルドのパッキングのゆるみや真空チルドケースのがたつきがあると真空状態を保てなくなります。

真空チルドのパッキングの汚れがひどいときは

1 真空チルドケースから真空チルドのパッキングを取りはずす

向かって右上の真空パッキングのつまみに手をかけていねいに取りはずします。

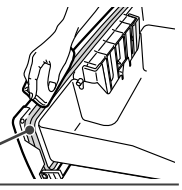


2 汚れた部分をやわらかいスポンジなどで水洗いする

※洗剤などは使わないでください。

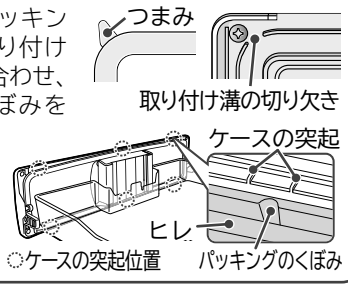
3 乾いた布などで水気をふき取り、自然乾燥させる

4 パッキング取り付け溝の汚れをふき取る



5 真空チルドのパッキングを取り付ける

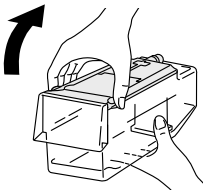
真空チルドのパッキングのつまみを取り付け溝の切り欠きに合わせ、パッキングのくぼみをケースの突起（6箇所）の間に合わせてしっかりと取り付けてください。



給水タンク 週に1回

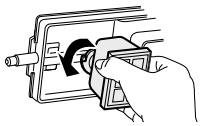
1 給水タンクを取り出し、ふたを取りはずす

ふたの手前側を矢印の方向へ持ち上げて取りはずしてください。



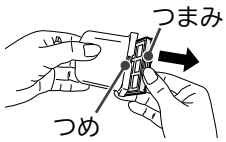
2 ふたからパッキングとケースを取りはずす

ケースはまわしてふたから取りはずします。



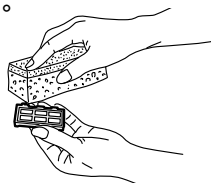
3 ケースから浄水フィルターを取りはずす

浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってつめからはずしケースを取りはずします。



4 給水タンクの各部品を水洗いする

やわらかいスポンジで水洗いしてください。
洗剤などは使わないでください。

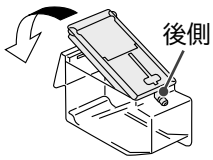


お知らせ

浄水フィルター交換の目安は約3～4年です。
➔P.35

5 給水タンクの各部品を取り付けてから、水を入れてセットする

ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。



お願い

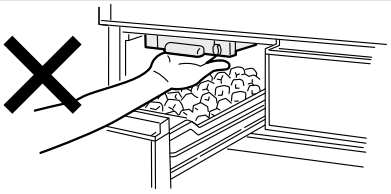
自動製氷機を長期間使わないときは、給水タンクのお手入れ後に、給水タンクをよく乾かして所定の位置にセットしてください。
（特に浄水フィルターはよく乾かしてください）

お手入れ ～つづき～

製氷おそうじ はじめてお使いのとき 自動製氷機を１週間以上使わなかったとき

⚠警告

自動製氷機の機械部には手を入れない。
(けがをすることがあります)



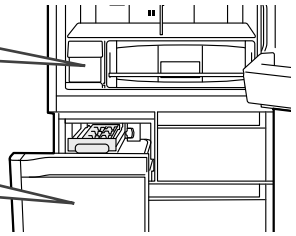
製氷皿や水の通り道を水洗いします。

準備

操作の前に、次のことをご確認ください。

給水タンク
・満水線まで水が入っている。
・タンクセット位置を越えて正しくセットされている。

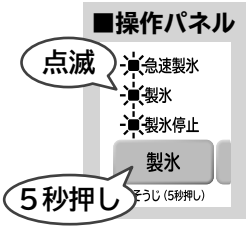
製氷ケース
・氷が残っている場合は取り除いてください。



確認したら、冷蔵室以外のドアを閉めて、次の操作をしてください。

1

製氷 をアラームが鳴り出すまで5秒以上押しつづける



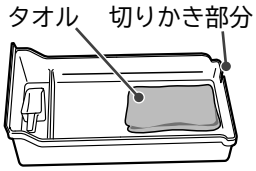
「急速製氷」「製氷」「製氷停止」の３つのランプが同時に点滅し、
「製氷おそうじ」がスタートします。(約４分間)
冷蔵室のドアを閉めてください。

・約４分間ランプが点滅し、アラームが鳴りつづけます。
・「製氷おそうじ」は、途中で中止することはできません。
・「製氷おそうじ」中に冷蔵庫のいずれかのドアを開けると、正常に動作しない場合があります。
　終了するまですべてのドアの開閉を行わないでください。
・ドアアラームを鳴らないように設定しているときでもアラームは鳴ります。➔ P.20

2

アラームが終わったら、製氷ケースの奥にある切りかき部分をふさぐようにして製氷ケースの底にきれいなタオルなどを敷く

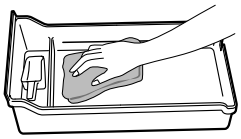
製氷おそうじのときにたまった水が、製氷ケース奥の切りかき部分からこぼれるのを防ぐため、吸水用のタオルを敷きます。



3

製氷ケースを取りはずし、ケース内の水をきれいにふき取ったあと製氷室にセットする

水分をふき取ったタオルなどは取り除いてください。
給水タンクに残った水は、そのまま製氷にお使いいただけます。
「製氷おそうじ」終了後は、「製氷」に設定されます。

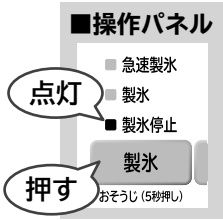


製氷皿 年に1、2回

1 製氷 を押して「製氷停止」を点灯させる

製氷皿への給水が停止されます。

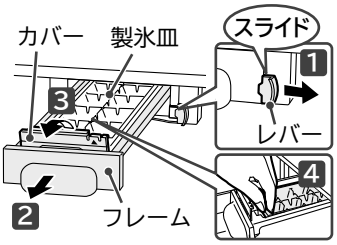
※「製氷停止」が点滅したときは、すべてのドアを閉め約1分間待って点灯してから、
次の操作をしてください。
なお、フレームは引き出せません。



2 製氷室のドアを開け、製氷皿を取り出す

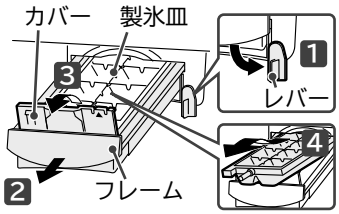
R-S50J・R-S50JL

1. レバーを右にスライドさせる
2. フレームを引き出す
3. カバー（▲部）を手前側に起こす
4. フレームから製氷皿を取りはずす



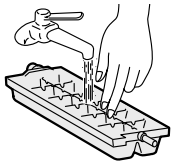
R-S40J・R-S40JL

1. レバーをおろす
2. フレームを引き出す
3. カバー（▲部）を手前側に起こす
4. フレームから製氷皿を取りはずす



3 製氷皿を空にして、流水で軽く洗い流す

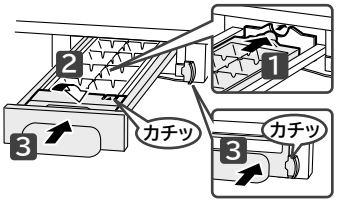
スポンジ・クレンザーなどは使わないでください。表面を傷つけないでください。



4 製氷室のドアを開け、製氷皿を取り付ける

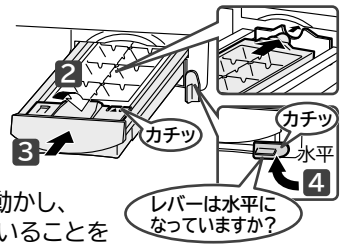
R-S50J・R-S50JL

1. 製氷皿をセットする
2. カバーをカチッと音が鳴るまで押し閉じる
3. フレームをカチッと音が鳴るまで奥に押し込む
4. フレームを前後に動かし、しっかり固定されていることを確認する



R-S40J・R-S40JL

1. 製氷皿をセットする
2. カバーを閉じる
3. フレームを水平にして奥まで押し込む
4. レバーを上げる
（フレームを前後に動かし、しっかり固定されていることを確認してください）

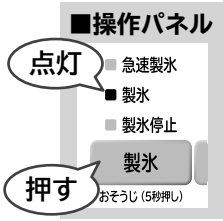


お知らせ

製氷皿の「フレームが奥まで押し込めない」ときは「製氷停止」に設定しなかったため、製氷皿を駆動するモータが動いた可能性があります。一度製氷皿を取りはずして、フレームのみを押し込みます。製氷室のドアを閉めてから 製氷 を押して、「製氷停止」に設定してください。約1分後、製氷皿駆動モータの準備が完了し、取り付けできます。

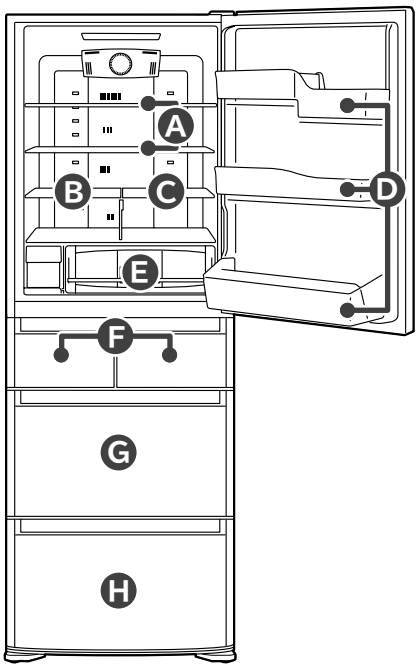
5 製氷 を押して「製氷」を点灯させる

自動製氷がスタートします。



部品の取りはずしかた・取り付けかた

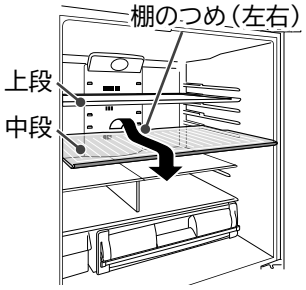
ご注意
- 部品を取りはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
- ここで説明している部品以外は、取りはずさないでください。
  説明していない部品を取りはずして掃除をしたいときなどは、修理に関するご相談窓口にご相談ください。➔ P.36
- 野菜室のプラチナ触媒は取りはずさないでください。また、水洗いしないでください。



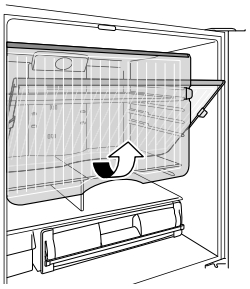
Ⓐ 高さかわるん棚上段・中段

お願い　棚上段を取りはずす場合は、まず棚中段を取りはずしてください。

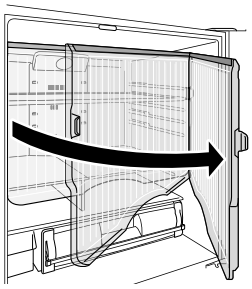
1 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。



2 図のように棚を立てます。



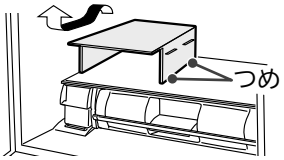
3 回転させて取りはずす。



取り付けの際は、棚を奥面にあたるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込んでください。（棚のつめを奥面部品へ引っかける）

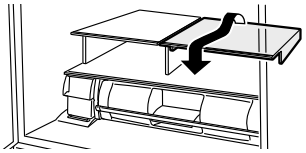
Ⓑ 固定棚

手前に引き出して右下のつめ２か所をはずして取りはずす。



Ⓒ 高さかわるん棚下段

手前を少し持ち上げて取りはずす。

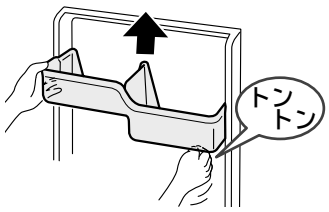


Ⓓ ドアポケット

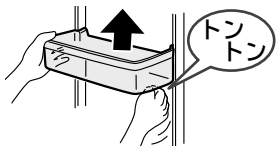
底面の左右を軽くたたきながら持ち上げて取りはずす。
（固めに固定してあります）

ご注意
取り付けの際は、最後までしっかり入れてください。
取り付けが不十分だとはずれて落下し、けがの原因になります。

R-S50J・R-S50JL



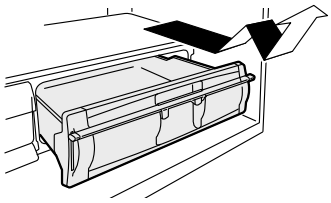
R-S40J・R-S40JL



Ⓔ 真空チルドケース

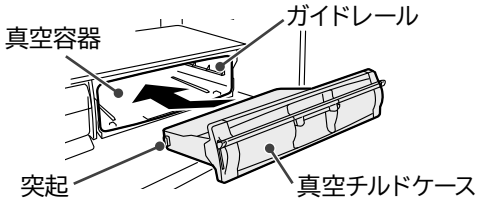
取りはずしかた

真空チルドケースを引き出し、手前を軽く持ち上げて上下に動かしながら引き出す。



取り付けかた

真空チルドケースの左右の突起を真空容器のガイドレールの下に滑らせるように入れる。最後にハンドルを下げてロックする。



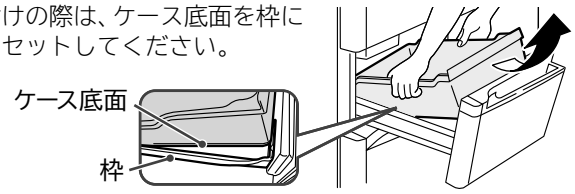
お願い　取り付けた後に何度か出し入れして、正しく取り付けたことを確認してください。

Ⓕ 製氷ケース（製氷室）・上段フリーザーケース（冷凍室上段）

R-S50J・R-S50JL

ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる。

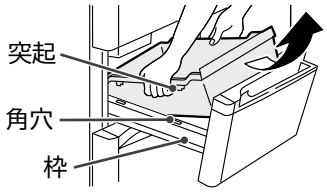
取り付けの際は、ケース底面を枠に載せてセットしてください。



R-S40J・R-S40JL

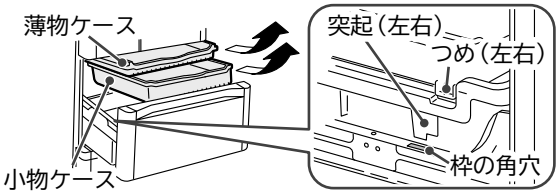
ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる。

取り付けの際は、ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットしてください。

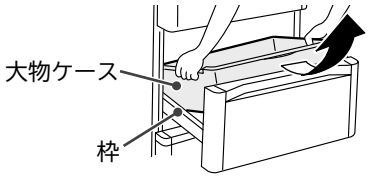


Ⓖ 薄物ケース・小物ケース・大物ケース（冷凍室下段）

1 ドアを開け、薄物ケース・小物ケースをそれぞれ引き出す。

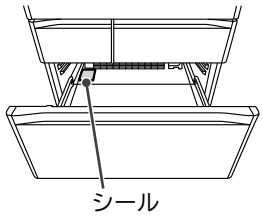


2 大物ケースを手前に持ち上げる。



ご注意

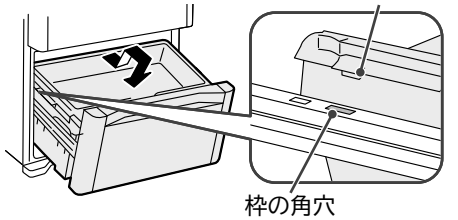
シールははがさないでください。



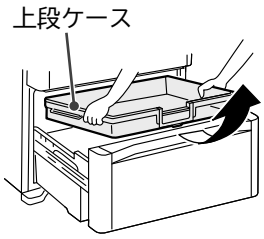
取り付けの際は、大物ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットしてください。
また、小物ケース左右のつめを大物ケースの外側にセットしてください。

Ⓗ 上段ケース・しきり・下段ケース（野菜室）

1 ドアを手前いっぱいに開け、両端を手前に持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、床におろします。

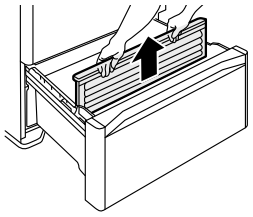


2 上段ケースを引き上げる。

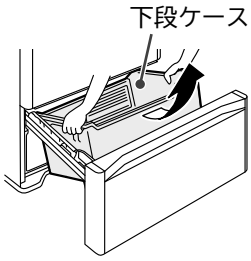


3 しきりを取りはずす。

- しきりの両側を持ってまっすぐ上に持ち上げてください。



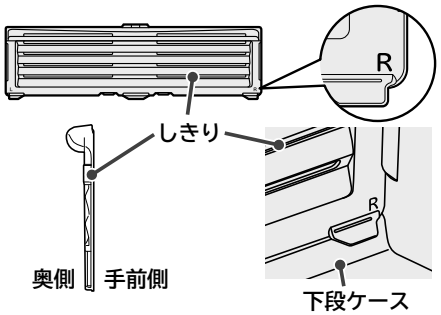
4 下段ケースを手前に持ち上げる。



ご注意

- ドアを開けるときは足を近づけないようご注意ください。足をドアにはさむおそれがあります。
- 下段ケース背面から水がたれる場合がありますのでご注意ください。
- 下段ケースを取りはずす前に必ずしきりを取りはずしてください。

正しくセットされていないと、開閉時の異音や半ドアの原因になります。
しきりを取り付けの際、[R] の文字を正面右下側にして、下段ケースに最後まで、しっかりと入れてください。



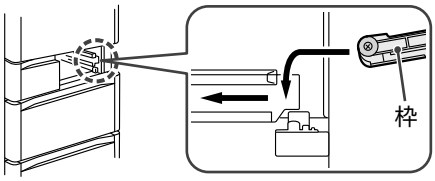
お知らせ

しきりや上段ケースが正しく取り付けられていないと、しきりやケース等の部品が破損することがあります。

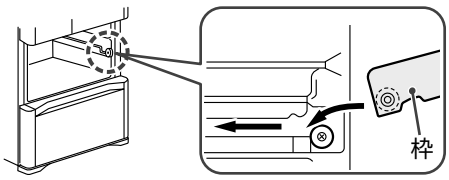
取り付けた後は上段ケースを前後にスライドさせ、正しく取り付けたことを確認してください。

引き出しドアの取りはずしかた・取り付けかた（製氷室・冷凍室上段・冷凍室下段・野菜室）

製氷室・冷凍室上段



冷凍室下段・野菜室



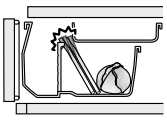
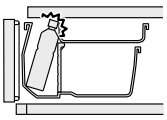
お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口にご連絡ください。➔ P.36

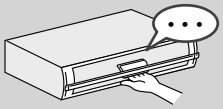
	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
使いはじめ	よく冷えない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷えるまで24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。なお、夏場や食品が多い場合は、冷えるまでさらに時間がかかります。
	製氷できない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷蔵庫全体が冷えていないため、最初の氷ができるまで24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
冷えない	冷えない アイスクリームがやわらかい	食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？	はさまっている食品を取り除き、きちんとドアを閉めてください。なお、収納するときは、食品の高さに注意してください。
		食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？	食品はすき間をあけて収納してください。
		各室のケースはきちんと取り付けられていますか？	きちんと取り付けてください。 ➔ P.26、27
		冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。	正しく設置されているかご確認ください。 ➔ P.6
		節電モードになっていませんか？	節電モードを解除してください。 ➔ P.21
		温度設定が「弱」になっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を変更してください。 ➔ P.8
		夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？	
		ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めが頻繁または長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。ドアの開閉を手早くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。
		操作パネルの表示が次々と変わっていませんか？	店頭用モードに入っていますので、解除してください。 ➔ P.30
霜や露がつく	庫内や引き出しの枠に霜や露、氷がつく	一時的に冷蔵室ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんでしたか？	引き出しやドアを閉める際は食品や袋がはさまっていないかを確認し、きちんと閉めてください。
		ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	ドアを開閉したときに、空気中にふくまれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。ドアの開閉を手早くしたり、開閉回数を出来るだけ少なくしてください。霜や露は乾いた布でふき取ってください。
	冷蔵庫の外側に露がつく	冷蔵庫の周囲の湿度が高くなっていませんか？	雨の日など湿度が高いときは、露がつくことがあります。露は乾いた布でふき取ってください。
		温度設定が「強」になっていませんか？	温度設定が「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。温度設定を「中」にしてください。露は乾いた布でふき取ってください。 ➔ P.8
	冷蔵庫背面及び壁に露がつく	冷蔵庫周囲の湿度が高く、冷蔵庫背面と壁との隙間が狭くなっていませんか？	冷蔵庫背面を壁から2cm以上離してください。 ➔ P.6
	冷蔵室の中が結露する	ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	ドアの開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。故障ではありません。乾いた布でふき取ってください。 結露
冷え過ぎる	冷え過ぎる 凍ってしまう	温度設定が「強」になっていませんか？	温度設定を「中」にしてください。 ➔ P.8
		周囲温度が5℃以下ではありませんか？	周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度設定を「弱」にしてください。
		冷気吹き出し口の手前に置いていませんか？	冷気吹き出し口の手前には置かないでください。

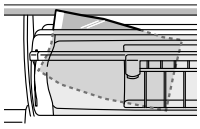
	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
自動製氷	氷がまったくできない	操作パネルの「製氷停止」ランプが点灯していませんか？ 製氷停止に設定されています。	「製氷」または「急速製氷」に設定してください。 ➔P.14、15
		操作パネルの「給水」ランプが点灯していませんか？ 給水タンクの水が少なくなっています。	給水タンクに水を入れてください。 ➔P.14、15
		給水タンクの水が少なくなっていませんか？	水の残りが少なくなると氷ができないことがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてください。 ➔P.14
		給水タンクが「タンクセット位置」の線を越えるまで奥にしっかりと押し込まれていますか？	給水タンクを「タンクセット位置」を越えるまで奥に押し込んでください。 ➔P.14
		フレームを奥に押し込んでいますか？	フレームを奥に押し込んでください。➔P.25
		製氷ケースに氷以外のものが収納されていませんか？	製氷ケースから取り除いてください。
	氷がなかなかできない	氷が部分的に満氷線を越えてたまっていませんか？	氷をならしてください。 ➔P.15
		ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	庫内が十分に冷えていません。 庫内が冷えるまでできるだけドアの開け閉めを少なくしてください。収納している食品同士の間隔をできるだけあけてください。
		冷蔵庫の周囲の温度が低くなっていませんか？	冬場は、氷ができるまで４時間以上かかることがあります。ドアの開閉回数をできるだけ少なくしておまちください。
		「製氷停止」の設定から「製氷」の設定に変更した直後ではありませんか？	設定を変更した直後は時間がかかることがあります。ドアの開閉回数をできるだけ少なくしておまちください。
		食品や袋がはさまり、冷凍室や製氷室が半ドアになっていませんか？	はさまっている食品は取り除き、きちんとドアを閉めてください。
		節電モードになっていませんか？	節電モードを解除してください。 ➔P.21
	氷に突起ができる	――	製氷皿の溝部分にたまった水が凍ったものです。異常ではありません。
	貯めた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	古い氷をためたままにしていませんか？	古い氷は自然に小さくなったりくっついたりします。製氷スコップなどで氷が離れる程度であれば問題はありません。
		ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	ドアの開閉を手早くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。
		一時的に冷蔵室ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんでしたか？	ドアを閉めるときは、きちんと最後まで閉めてください。
	できあがった氷が小さい	給水タンクの水が少なくなっていませんか？	水の残りが少なくなると、小さな氷ができることがあります。給水タンクの満水線まで水を入れてください。 ➔P.14
	できあがった氷がはじめからくっついている	フレームを奥に押し込んでいますか？	フレームを奥に押し込んでください。➔P.25
		製氷皿に傷がついていませんか？	製氷皿に傷がつくと、製氷皿から氷がはがれにくくなり、割れた氷やくっついた氷ができることがあります。販売店にご相談の上、製氷皿を交換してください。
		――	製氷皿の溝部分にたまった水が凍り氷同士がくっつくことがあります。異常ではありません。
	氷に白いにごりがある	――	水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられたためです。
		ミネラルウォーターで氷をつくっていませんか？	水にふくまれるミネラル分が凍って白くにごることがありますが、害はありません。
	製氷皿のフレームが引き出せない	設定を「製氷停止」にしましたか？	自動製氷機が作動している間は引き出せません。「製氷停止」に設定してください。「製氷停止」ランプが点滅したときは、約１分間待って表示が点灯してから引き出してください。 ➔P.25
	氷をつくらないときは	――	「製氷停止」に設定してください。 「氷をつくらない（製氷停止）」をご覧ください。 ➔P.15

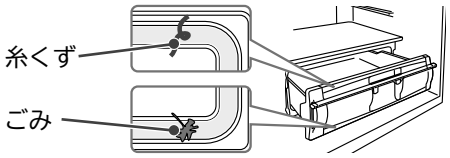
お困りのときは～つづき～

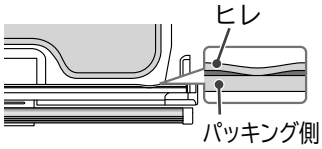
	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
操作パネルのランプが点滅している	**冷凍・冷蔵の温度調節ランプが3つ以上点滅している**	冷凍「強・中・弱」と冷蔵「強・中・弱」の6つのランプの点滅、消灯を1つずつ確認してください。	点滅しているランプに☑マークを付けて修理に関するご相談窓口にご連絡ください。➔P.36 記録していただくと正確に伝わります。 （チェックリスト） ☐強 ☐強 ☐中 ☐中 ☐弱 ☐弱 冷凍 冷蔵
	製氷ランプ点滅または冷凍「強・弱」と冷蔵「弱」ランプ点滅	製氷室に自動製氷機でつくった氷以外の食品や氷を入れていませんか？	製氷皿に、食品などがあたっている可能性があります。製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。➔P.24
	真空氷温ランプ点滅	サービスマンにチェックしてもらった直後ですか？	サービスマンの動作確認用モードになっている可能性があります。約15分後に通常モードに戻ります。ご使用上問題ありません。
	急速製氷・製氷・製氷停止ランプ同時点滅	「製氷」を5秒以上押しませんでしたか？	製氷おそうじを行っています。約4分間で点滅が収まります。点滅中は冷蔵庫のどのドアも開けないでください。
	製氷停止ランプ点滅	「製氷停止」に設定した直後ではないですか？	自動製氷機が動いています。約1分間で点滅が収まります。点滅中は製氷室のフレームを取り出すことはできません。
	すべてのランプ点滅	ドアが開いていませんか？ ドアに食品などが挟まって半ドアになっていませんか？	ドアが開いている場合は、閉めてください。 食品などが挟まって半ドアになっている場合は、取り除いてしっかりと閉めてください。
	点灯しているランプが次々と変わっている	――	店頭用モードに入っていますので解除操作をしてください。 店頭用モードのときは冷却運転をしません。 冷蔵室ドア、冷凍室下段ドアを開ける。 いずれかのボタンを押し設定表示にしてから、冷凍 をピピッと鳴るまで10秒以上押し続ける。 数秒間全ての表示が点灯し店頭用モードが解除され、冷却運転を開始します。 冷蔵室ドア、冷凍室下段ドアを閉める。
野菜室が気になる	**野菜室の中が結露する**	水分の多い野菜を大量に収納していませんか？	野菜室はほかの部屋に比べて、湿度が高くなっているため、野菜の量や種類によって野菜室のケースや天井、食品表面に結露することがあります。異常ではありません。結露が気になる時は、ラップをかけて収納することをお勧めします。また、結露が多くなると、野菜室のケースに水がたまる場合があります。たまった水はやわらかい布でふき取ってください。
		うるおいユニットが食品の袋や容器によってふさがれていませんか？	うるおいユニットがふさがれていると、結露が発生しやすくなります。うるおいユニットをふさいでいる食品の袋や容器を他の場所に移動してください。結露はやわらかい布でふき取ってください。
	野菜室のドアが閉まらない・野菜室のドアを開けたとき上段ケースがロックの位置に戻らない	しきりが正しい方向でついていますか？	しきりを正しい方向に取り付けてください。➔P.27
		上段ケースと下段ケースの間に食品などがはさまっていませんか？ 	はさまっているときは取り除いてください。
		上段ケースのハンドル部にペットボトル、食品などがあたっていませんか？ 	ハンドルに、ペットボトル、食品があたらないように保管してください。

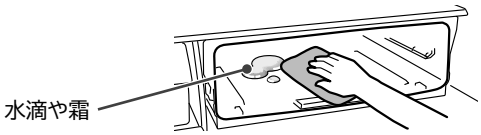
	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
真空チルドが気になる	開けるとき、“プシュー”と音がしない	真空チルドルームの設定が「真空 切」(真空にしない氷温)になっていませんか？	設定を「真空氷温」または「真空チルド」に変更してください。 ➔P.13
		ハンドルが上に上がっていませんか？	ハンドルをしっかり押し下げてロックしてください。
		ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？	ロックされていないと真空になりません。 真空チルドケースを奥まで押し込んだ後、ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしてください。
		真空チルドのパッキングがはずれていませんか？	真空チルドのパッキングを取り付けてください。 ➔P.23
		真空チルドのパッキング・真空パッキング受け部に食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？ また食品汁などでパッキングのヒレがパッキング側にくっついたりしていませんか？	食品の包装などがはさまったときは、取り除いてください。 パッキングがくっついていると真空状態を保てなくなります。 真空チルドのパッキングが汚れている場合はお手入れしてください。 ➔P.23 真空チルドのパッキングが破損・変形等している場合は交換してください。 ➔P.35
		真空チルドルームや冷蔵室ドアの開閉直後ではありませんか？	真空ポンプが作動してから、真空になるまで約3～4分かかります。開閉後、4分以上待ってください。
	真空になっているかわからない	真空チルドを開けるとき、音がしますか？	開けるときに“プシュー”と真空解除音がすれば、正常です。
	ハンドルのロックができない	真空チルドのパッキング部や真空チルドケースの奥に食品などがはさまっていませんか？	はさまっているときは、取り除いてください。
		真空チルドケースがきちんと取り付いていますか？	真空チルドケースを「取り付けかた」にしたがい取り付けてください。 ➔P.26
	真空チルドルームの周りからの“ブーン”という音と振動がする	――	真空にするためのポンプが作動する音です。 夜間など音が気になるときは、真空ポンプの作動を停止することができます。 真空チルドルームの設定を「真空 切」(真空にしない氷温)に変更してください。 ➔P.13
		真空チルドケースに物がはさまっていたり、真空チルドのパッキングが汚れていませんか？ ハンドルは最後までしっかり押し下げてロックしていますか？	音や振動が頻繁になることがあります。 食品の包装などがはさまっているときは、取り除いてください。真空チルドのパッキングが汚れている場合はお手入れしてください。 ➔P.23 ハンドルは最後までしっかり押し下げてロックしてください。
	真空チルドルームの内部や真空チルドケース周辺に水滴や霜、氷がつく	水分の多い食品を収納していませんか？	真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に露や霜がつくことがあります。 水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。水滴や霜が付いた場合はやわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。
	真空チルドルームの食品が凍る	設定が「真空氷温」や「真空 切」(真空にしない氷温)になっていませんか？	「真空チルド」に設定してください。 ➔P.13
ドアの段差や傾きが気になる	左右のドアに段差があるドアが傾いている	設置場所は水平ですか？	性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。 ➔P.6
		床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈んでいませんか？	冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。











お困りのときは～つづき～

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。	
においが気になる	プラスチックのにおいがする	――	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。異常ではありません。	
	氷がにおう	給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？	「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。 ➔P.23	
		――	水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。	
	庫内がにおう	においの強い食品をそのまま収納していませんか？	脱臭機能はすべてのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。	
冷蔵庫が熱くなる	冷蔵庫の側面が熱くなる 足元から暖かい風が出る	――	冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。安全および性能上問題はありませんが、手をふれないでください。	
音が気になる	音 マークがある項目はホームページから音が確認いただけます。			
	冷蔵庫から聞こえる音がうるさい	床がたわんでいませんか？	厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。 ➔P.6	―
		冷蔵庫が壁や家具などにあたっていませんか？	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。	―
		冷蔵庫は冷えていますか？	ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。	音
		「急冷蔵」「急冷凍」「急速製氷」に設定していませんか？	設定が「急冷蔵」「急冷凍」「急速製氷」になっているときは、コンプレッサーやファンモーターが高速運転をするため、音が大きくなります。	音
	運転音が長い	――	コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているため、運転音が長く感じることがあります。	音
	ときどき音が大きくなる	――	庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているため、ときどき音が大きく感じることがあります。	―
	その他 このような音が聞こえたときは	水の流れるような音（チョロチョロ） 衝突するような音（コツコツ） 沸騰するような音（ボコボコ） 肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、 霜取りの際に水が流れる音、 蒸発する音です。 異常ではありません。	音
		きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときや、 真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。 異常ではありません。	音
		何か引っかかるような音（コトコト） うなるような音（プー） ドアを閉めた直後の音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や 真空ポンプが作動する音です。 異常ではありません。	―
		自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷がはなれるときや 製氷皿に水を入れるときの音です。 異常ではありません。 氷を作らないときは、製氷を押して「製氷停止」にしてください。 ➔P.15	音
		ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転をはじめるときの音です。 異常ではありません。	―

	こんなときは	こうしてください。こういう理由です。
その他	**本体に触れるとわずかに電気を感じる**	冷蔵庫が静電気を帯びる場合がありますが、安全上問題はありません。気になる場合はアースの取り付けをおすすめします。 ➔ P.7
	テレビ・ラジオなどに雑音、映像の乱れが生じる	この冷蔵庫からごくわずかに発生する電磁波のためです。 テレビ・ラジオ・インターフォンなどから離して設置してください。 電源はアンテナ線などからはなれたところからとり、アースの取り付けをおすすめします。 ➔ P.7
	プラスチック部品に傷のような細い線がある	プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
	ドア面や側面・天面にゆがみがある	冷蔵庫の製造工程上、ゆがみが生じます。 光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、異常ではありません。 また、性能上は問題ありません。
	ドア内側や冷蔵室側面に小さな穴が開いている	この穴は冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がすための穴です。傷や異常ではありません。 穴（ドア内側） 穴（冷蔵室側面） ※製品によっては、シールが貼ってある場合がありますが、剥がさずにご使用ください。
	停電した	復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。 停電復旧した後は、操作パネルの設定をご確認ください。
	冷蔵庫を長期間使わない	庫内の食品をすべて出してください。 電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをしてください。 ➔ P.22～25 2～3日間すべてのドアを開けて乾燥させてください。
	霜取りをする	この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
	冷蔵庫を移動・運搬する	「移動・運搬の準備（引っ越しをする）」をご覧ください。 ➔ 下記参照
	ガラスが割れた（ドアガラス）	割れたガラスに触れず、すぐにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	ドアを閉めるとほかのドアが開く	ドアを勢いよく、閉めませんでしたか？ 各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。
	ドアを閉めた直後開けようとすると重い	ドアを長い間、開けていませんでしたか？ 庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。 ドアは長時間、開けたままにせず、こまめに開閉してください。

移動・運搬の準備（引っ越しをする）

1 **食品や氷を取り出す**

2 **給水タンク・製氷皿の水をすてる**

3 **電源プラグを抜く**
移動直前でも問題ありません。

4 **脚カバーを取りはずし、調節脚を上げる** ➔ P.6

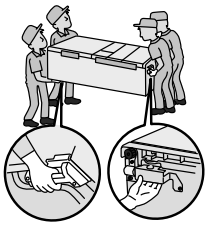
5 **ドア・電源コードをテープで固定する**

6 **移動・運搬時には保護用のシート・布などを敷く**
床材を傷つけたり、水がこぼれたりすることを防ぐためです。

7 **冷蔵庫の下に布などを敷き、冷蔵庫を後方に倒して、背面下部より水抜きをする**

8 **運搬用取っ手を持ち、２人以上で運ぶ**

輸送のときは横積みしないでください。
（冷蔵庫の故障の原因となります）



9 **「使いはじめるまでの手順」にしたがって設置する** ➔ P.6、7

仕様

型式		R-S50J・R-S50JL	R-S40J・R-S40JL
種類		冷凍冷蔵庫	
定格内容積〈食品収納スペースの目安〉[L]	全定格内容積	501	401
	冷蔵室	264〈205〉	214〈166〉
	うち真空チルドルーム	〈 10〉	〈 8〉
	製氷室（ツースター）	21〈 6〉	18〈 5〉
	冷凍室上段（ツースター）	24〈 12〉	19〈 9〉
	冷凍室下段（フォースター）	95〈 62〉	75〈 51〉
	野菜室	97〈 65〉	75〈 50〉
外形寸法[mm]	幅	620	600
	奥行	733	664
	高さ	1,818	1,798
定格電圧[V]		交流100	
定格周波数[Hz]		50／60 共用	
電動機の定格消費電力[W]		91	91
電熱装置の定格消費電力[W]		144	141
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
質量[kg]		100	86

- 定格内容積は、日本工業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚やケース等）を取りはずした状態で算出したものです。
- 食品収納スペースの目安は、日本工業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出したものです。
- 貯蔵室ごと（例えば、冷蔵室、冷凍室、野菜室等）に、定格内容積と併せ食品収納スペース（貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積）の目安を表示しています。
- 冷蔵室の食品収納スペースの目安には真空チルドルームの数値を含みます。
- （ ）内は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示しています。目標温度の区分は日本工業規格（JIS C 9801-1：2015および9801-3：2015）に定められています。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

消費電力量について

年間消費電力量は、JIS C 9801-3：2015測定基準によります。使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方などにより変動します。

年間消費電力量測定方法の概要

	JIS C 9801-3：2015 消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	−18℃以下	4℃以下	4℃以下	−18℃以下
周囲温度	32℃及び16℃			
周囲湿度	32℃測定時：70±5%　16℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	年間消費電力量（kWh／年）（周囲温度32℃測定による1日当りの消費電力量205日分と周囲温度16℃測定による1日当りの消費電力量160日分の合計）			

冷凍室の性能

冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

記号	＊＊＊＊ フォースター	＊＊ ツースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下	−12℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月	約1カ月

※市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

収納できる食品の重さの目安

収納できる食品の重さには制限があります。収納する食品の重さの合計が、各棚、ケースの目安を超えないようにしてください。

	部品名	R-S50J・R-S50JL	R-S40J・R-S40JL
冷蔵室	高さかわるん棚上段	16.0	13.5
	高さかわるん棚中段	16.0	13.5
	高さかわるん棚下段・固定棚	16.0	13.5
	真空チルドルーム上の棚	8.0	7.5
	真空チルドケース	3.5	2.5
	ドアポケット合計	24.0	21.5
製氷室	製氷ケース（貯氷スペースには自動製氷機でつくった氷以外は入れないでください ➔ P.15）		
冷凍室上段	上段フリーザーケース	4.0	3.0
冷凍室下段	薄物ケース	4.0	3.5
	小物ケース	5.5	4.5
	大物ケース	13.5	11.5
野菜室	上段ケース	5.0	4.0
	下段ケース	15.5	13.0

単位：[kg]

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	型式	商品型式		希望小売価格
氷がにおうとき 浄水フィルターが古く汚れているおそれがあります。 （使用期間の目安は約3～4年です）	自動製氷用浄水フィルター	全機種共通	RJK-30		1,500円（税別）
真空状態が保てないとき 破損・変形・変色しているおそれがあります。	真空パッキング	R-S50J	R-S5000H 321		1,680円（税別）
		R-S40J	R-S4000H 321		
地震にそなえて	冷蔵庫用地震転倒防止ベルト ※2セット必要となります。	全機種共通	R-826CV 300		1,040円（税別） ※1セットの価格です
ドアの段差や傾きが気になるとき	調整キット（専用工具およびクッション2個）	全機種共通	R-XG6700G 650		1,200円（税別）
	調整板（3枚）	全機種共通	R-Y6000 500		1,200円（税別）

※上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
なお、**食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保証期間：お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよび冷却器用ファンモーターは、5年間です）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

「お困りのときは」➔ P.28～33 にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立冷凍冷蔵庫
型式	R-S50J・R-S50JL・R-S40J・R-S40JL （冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料 などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

点字シール

操作パネルにお使いいただく「点字シール」をご用意しています。
パネルに貼り付けていただくと、ボタンの位置と操作内容がわかるようになります。
ご希望の方は、商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口へご連絡をお願いします。➔ P.36

お客様ご相談窓口

■商品情報・お取り扱い・修理についてのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。
または「日立家電品についてのご相談窓口」(下記)にご相談ください。

日立家電品についてのご相談窓口

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口	修理に関するご相談窓口
TEL 0120−3121−11 携帯電話・PHSから 050−3155−1111(有料) FAX 0120−3121−34 (受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日、祝日) 年末年始は休ませていただきます。	TEL 0120−3121−68 携帯電話・PHSから 0570−0031−68(有料) FAX 0120−3121−87 (受付時間) 9:00〜18:00(月〜土)、9:00〜17:00(日、祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
URL https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/ または 日立家電修理 検索
「修理相談/受け付け」ページの 出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。
(注)対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「部品購入」については、上記ご相談窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

この J-Moss グリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率が JIS C 0950:2008 による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか？	● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● 電源コードに深い傷や変形がある。 ● 焦げくさいにおいがする。 ● 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。 ● ピリピリと電気を感じる。 ● その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入年月日　　年　　月　　日　型式

購入店名　　電話　(　　)

日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話 (03)3502-2111

R-S50J・R-S50JL
R-S40J・R-S40JL
©